

# 那須町人口ビジョン

令和8年3月

那 須 町

## 目次

1. 人口動向分析.....	1
(1) 総人口及び年齢3区分別人口の推移.....	1
(2) 性別・年齢別人口構成.....	3
(3) 出生・死亡、転入・転出の推移.....	3
(4) 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響.....	7
(5) 合計特殊出生率の推移.....	8
(6) 性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況.....	9
(7) 性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向.....	10
(8) 転入元・転出先の状況.....	12
(9) 人口動向の整理.....	14
2. 雇用及び就労に関する分析.....	15
(1) 産業構成.....	15
(2) 産業特性.....	16
(3) 年齢別産業構成.....	17
(4) 昼夜間人口と比率.....	20
(5) 産業特性の整理.....	22
3. 将来人口推計.....	23
(1) 社人研推計準拠.....	23
(2) 封鎖人口.....	25
(3) 社人研推計準拠と封鎖人口の比較.....	26
4. 人口の将来展望.....	27
(1) 出生と移動に関する仮定について.....	27
(2) 社人研推計と独自推計の比較.....	30
(3) 総人口の将来展望.....	32

## 1. 人口動向分析

過去から現在に至る人口の推移を把握し、自然増減(出生と死亡の差により生じる増減)の要因と社会増減(転入と転出の差により生じる増減)の要因とに分解して、それぞれがどのように影響してきたかなどを分析します。

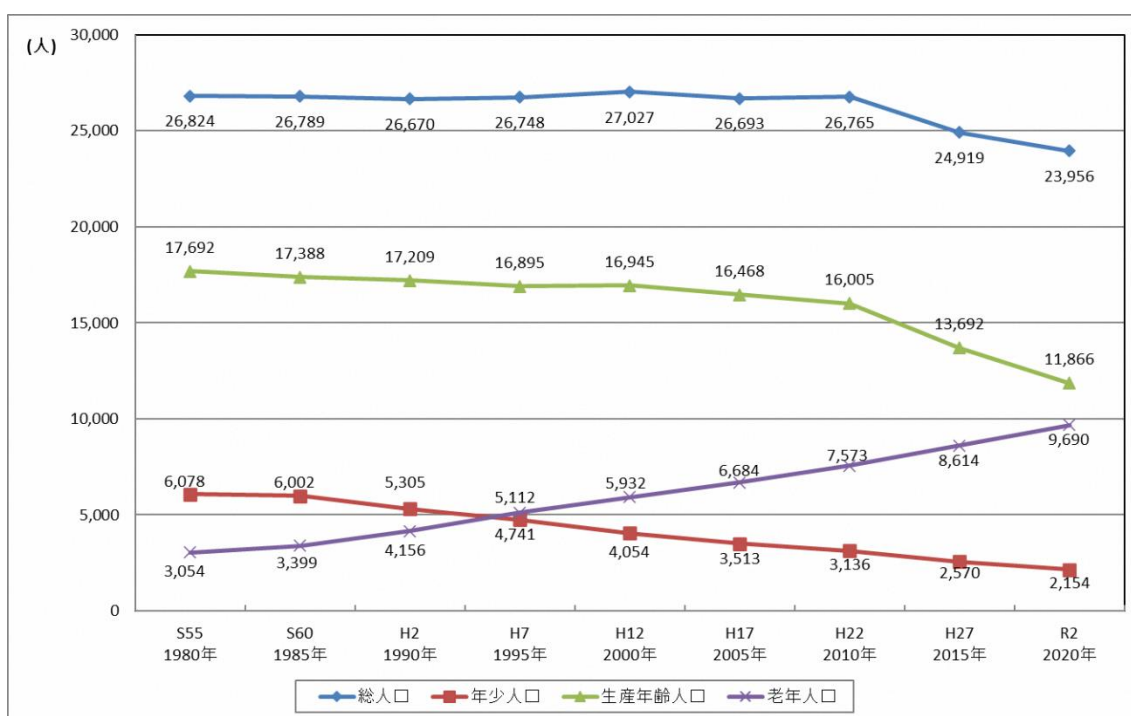
### (1) 総人口及び年齢3区分別人口の推移

本町における総人口及び年齢3区分別人口の推移を把握します。

#### ◆人口の増減推移

- ・本町の総人口は、2020年に23,956人となっています。前回(2015年)の24,919人から963人の減少となっています。
- ・総人口の推移は、2010年まで大きな増減はみられませんでした。2010年以降減少数が大きくなっています。
- ・生産年齢人口(15～64歳)は2010年から大きく減少しています。
- ・1995年に老年人口(65歳以上)が年少人口(0～14歳)を上回りました。

図表 1 年齢3区分別人口の推移



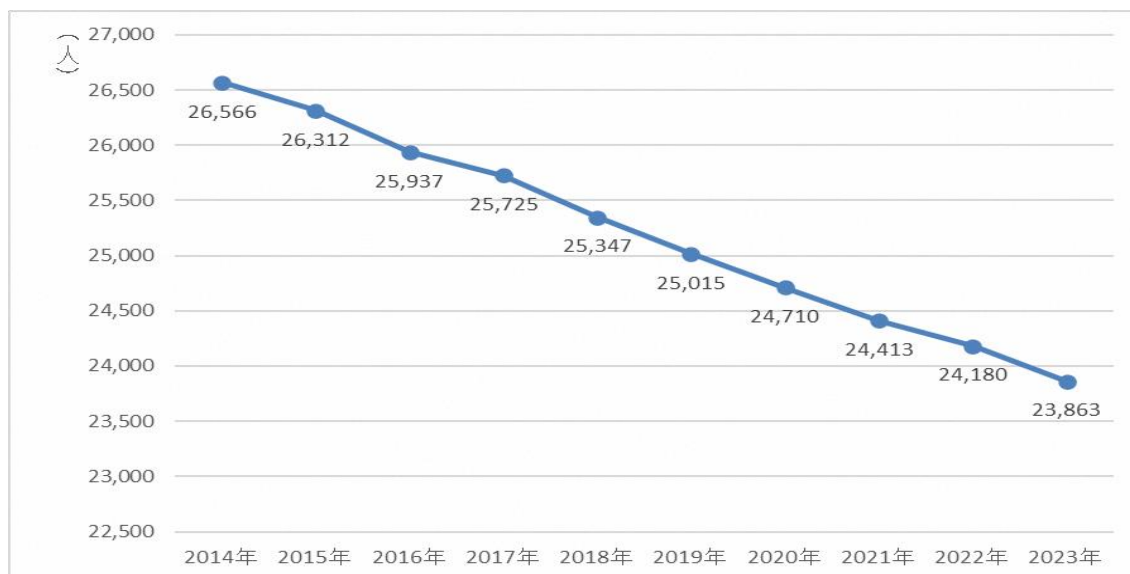
注) 2000～2020年までの実績値のうち、年少人口、生産年齢人口及び老年人口には年齢不詳は含んでいません。総人口には含みます。

資料：総務省統計局「国勢調査」

◆外国人人口の推移

- ・日本人人口は2014年より一貫して減少していますが、外国人人口は増加しています。
- ・外国人人口の推移をみると、2014年に203人でしたが2023年には418人となっています。
- ・外国人人口は日本人人口の1.8%程度です。

図表 2 日本人人口の推移



資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 3 外国人人口の推移



資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

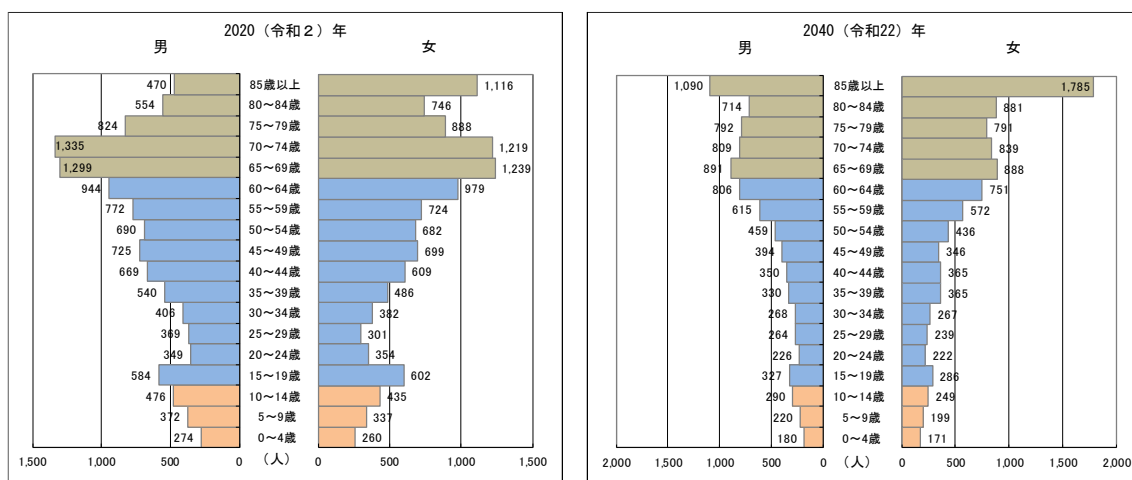
## (2) 性別・年齢別人口構成

1990年と2020年の人口ピラミッドより変化を把握します。

### ◆性別・年齢別人口構成の状況

- ・1990年、2020年の男女とも20歳代の人口が少なくなっています。
- ・1990年と2020年の85歳以上の人口を比較すると、6倍以上に大幅に増加しています。
- ・2020年では、男女いずれも15～19歳と20～24歳の間に大きな落差が発生しています。70～74歳と75～79歳の間においても同様の傾向が見られます。

図表4 人口ピラミッドの比較



資料：総務省統計局「国勢調査」

※年齢不詳値を除く。

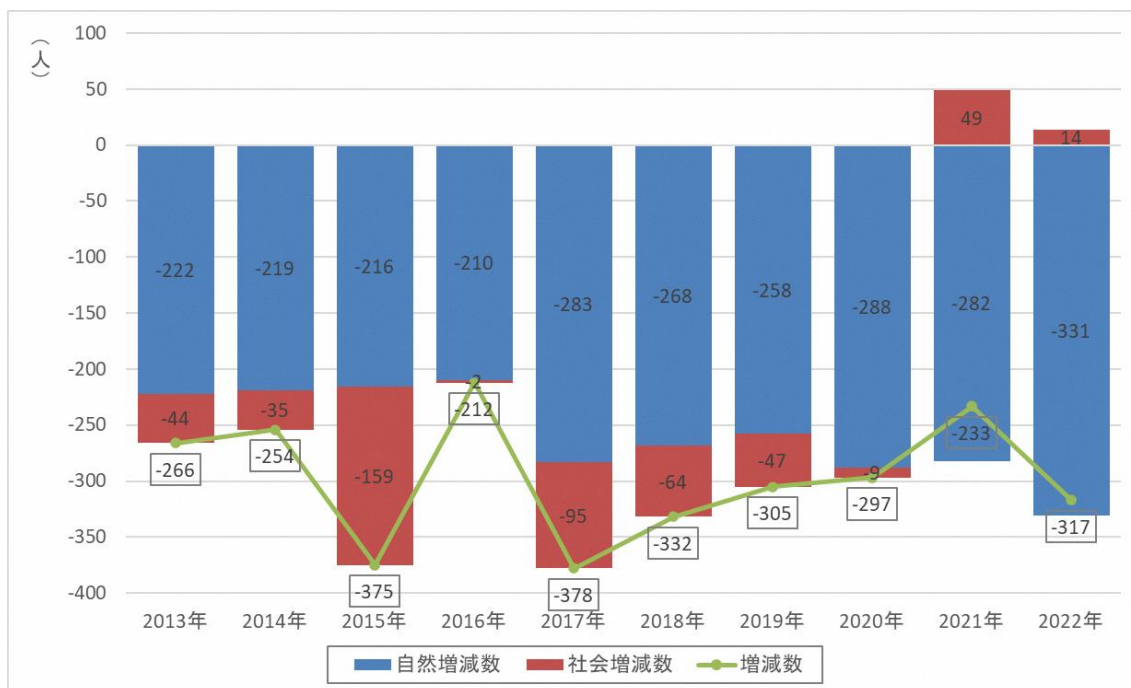
## (3) 出生・死亡、転入・転出の推移

人口増減の要因となる、出生と死亡、転入と転出の推移を把握します。

### ◆出生・死亡、転入・転出の推移の状況

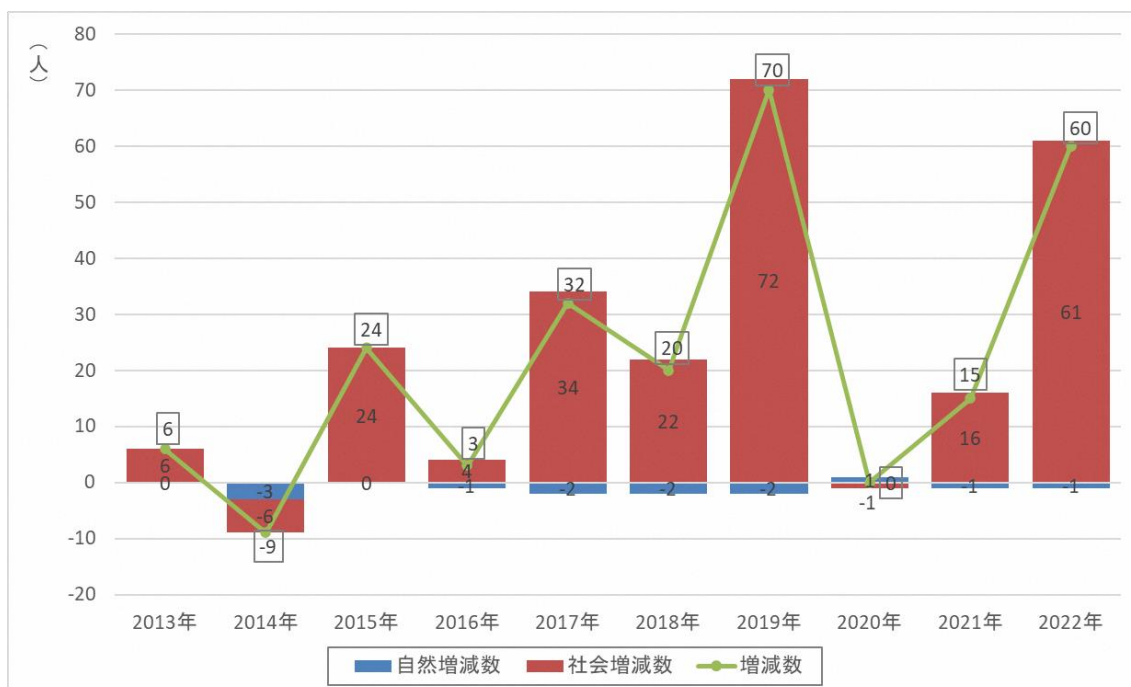
- ・本町では、日本人住民は2013年以降一貫して自然減となっています。
- ・日本人住民は2020年までは社会減となっていました、2021年以降社会増となっています。
- ・一方で、外国人住民は2015年以降社会増となっています。自然増減は各年とも数名で影響は無視できる推移です。

図表 5 社会増減数、自然増減数の推移（日本人住民）



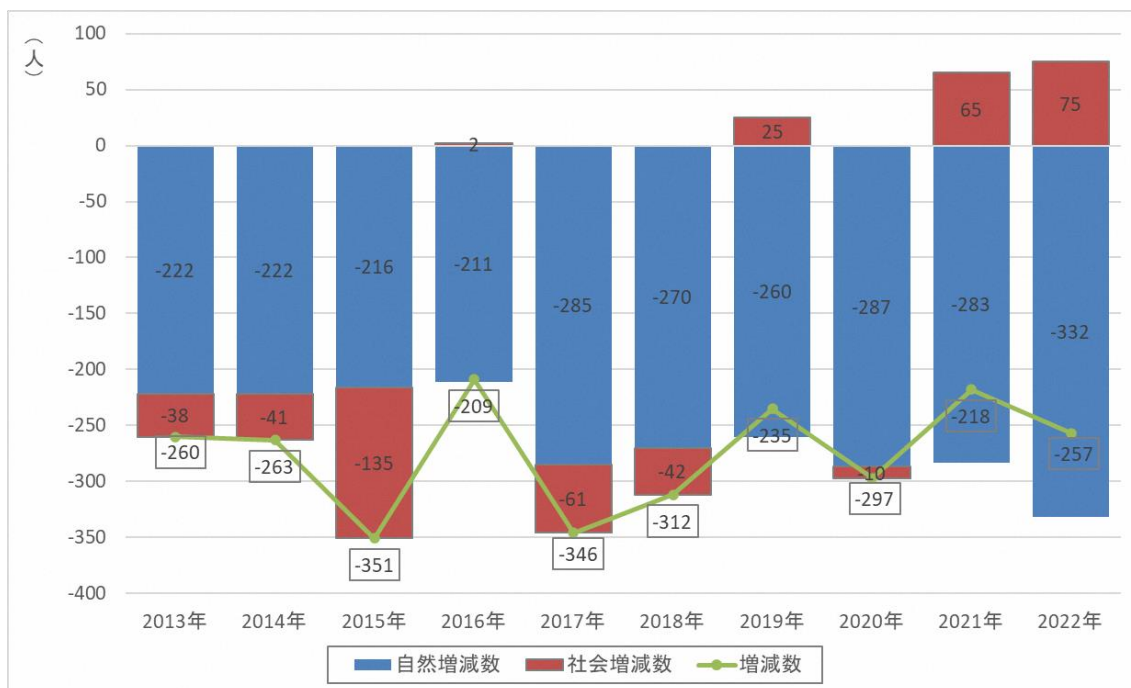
資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 6 社会増減数、自然増減数の推移（外国人住民）



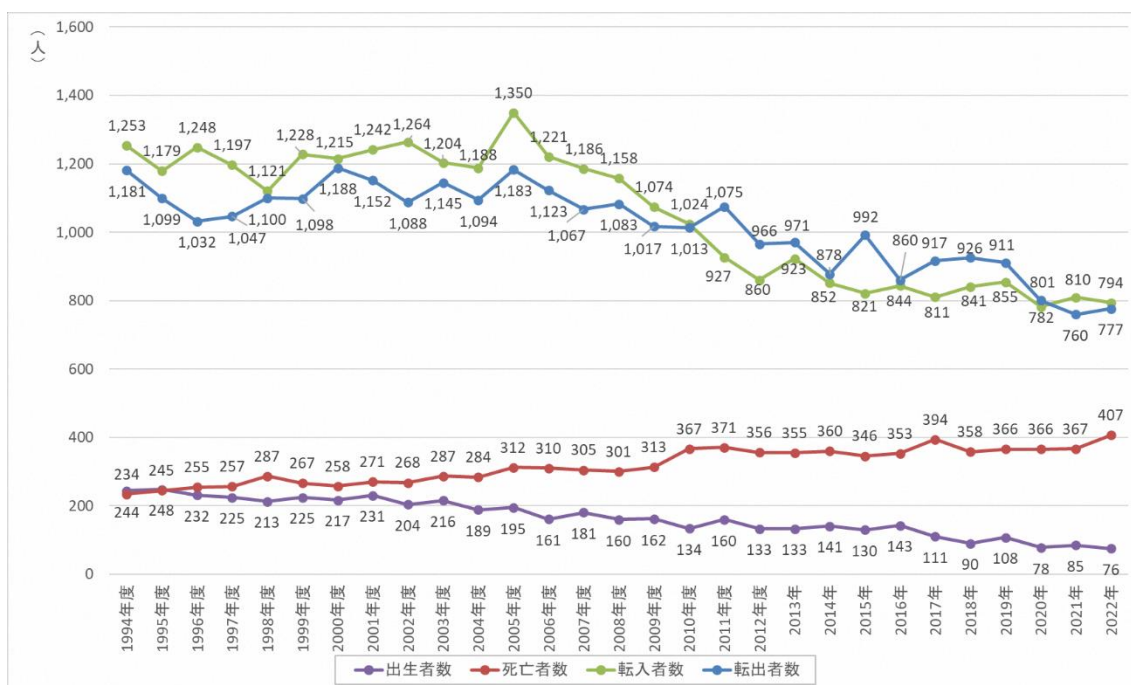
資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 7 社会増減数、自然増減数の推移（総数）



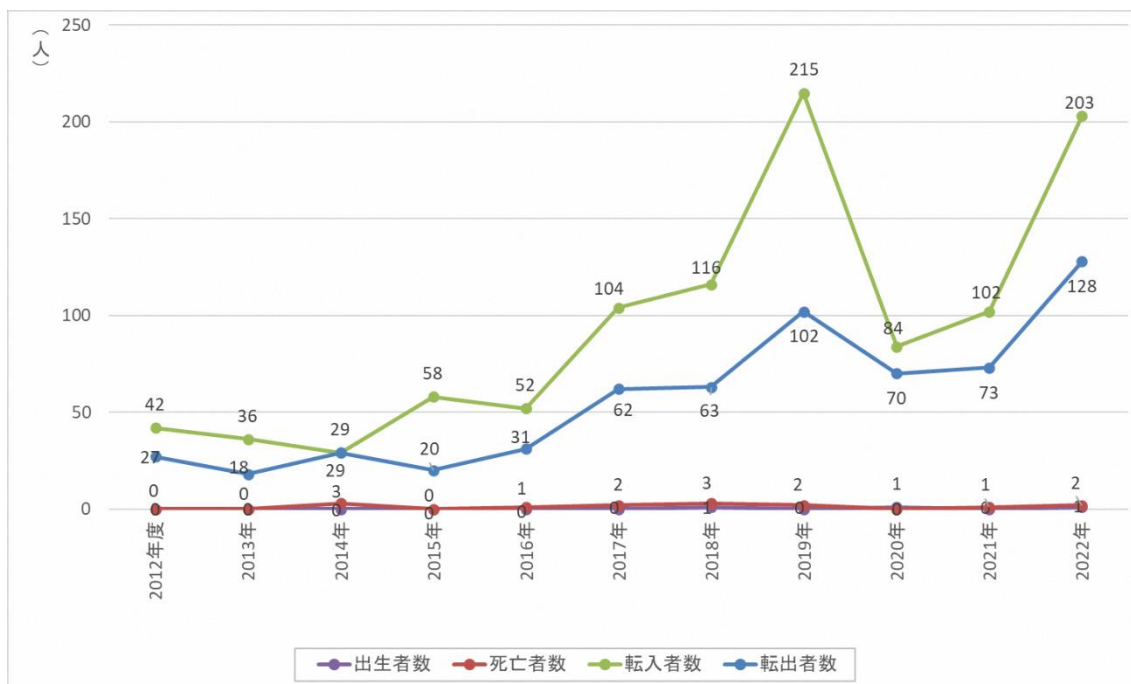
資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 8 転入者数、転出者数、出生者数、死亡者数の推移（日本人住民）



資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 9 転入者数、転出者数、出生者数、死亡者数の推移（外国人住民）



資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 10 転入者数、転出者数、出生者数、死亡者数の推移（総計）



資料：総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

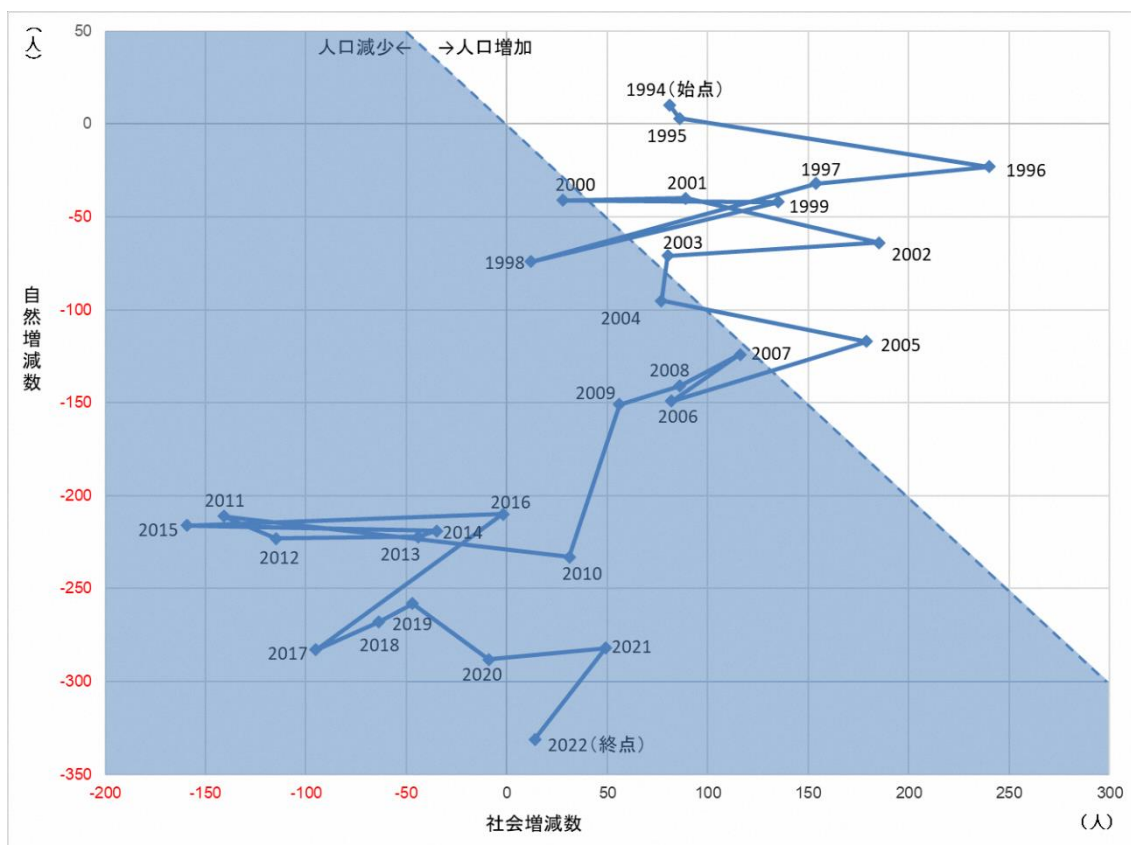
#### (4) 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響

社会増減数と自然増減数を基に、総人口に与えてきた影響を分析しました。次のグラフは縦軸に「出生数－死亡数」、横軸に「転入数－転出数」をとり、各年の値をプロットしたものです。

##### ◆総人口に与えてきた影響

- ・2007年までは数年の人口減少年があったものの、概ね人口増加傾向でした。2008年以降は一貫して人口減少基調となっています。
- ・1995年以降は自然減で推移しています。それでも、2010年までは社会増で補っていた状況でしたが、2011年以降は自然減に加え社会減となっています。
- ・2021年以降は再び社会増になっていますが、自然減の人数がさらに多くなっている現状です。

図表 11 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響（日本人住民）



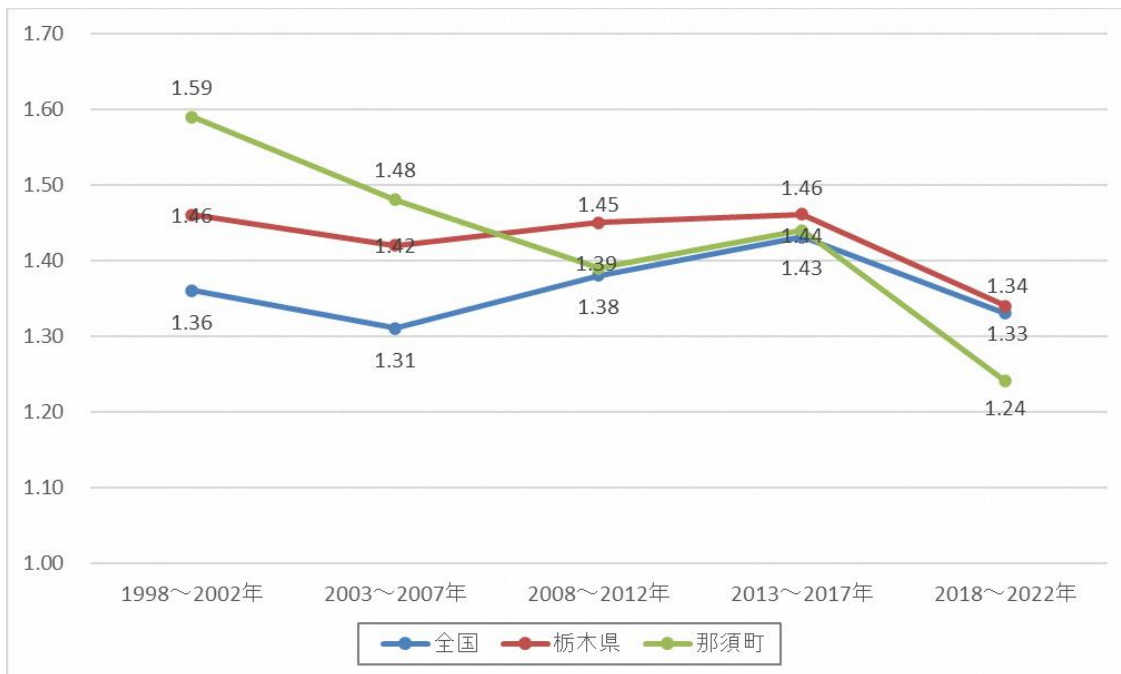
資料：厚生労働省「人口動態調査」、総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

※1994年～2012年までは年度単位、2013年以降は暦年単位。

(5) 合計特殊出生率の推移

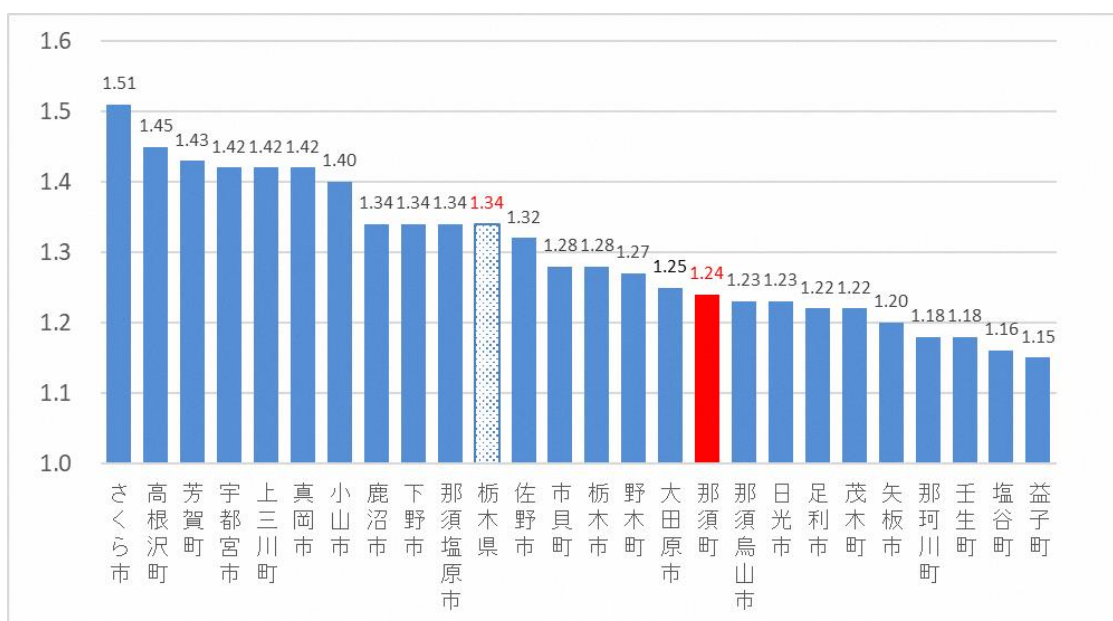
合計特殊出生率<sup>※</sup>の推移を整理するとともに、県内の他市町の状況と比較しました。

図表 12 合計特殊出生率の推移（全国・栃木県・那須町）



資料：厚生労働省「人口動態調査」「人口動態保健所・市区町村別統計」

図表 13 県内合計特殊出生率比較（2018～2022年）



資料：厚生労働省「人口動態調査」「人口動態保健所・市区町村別統計」

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。

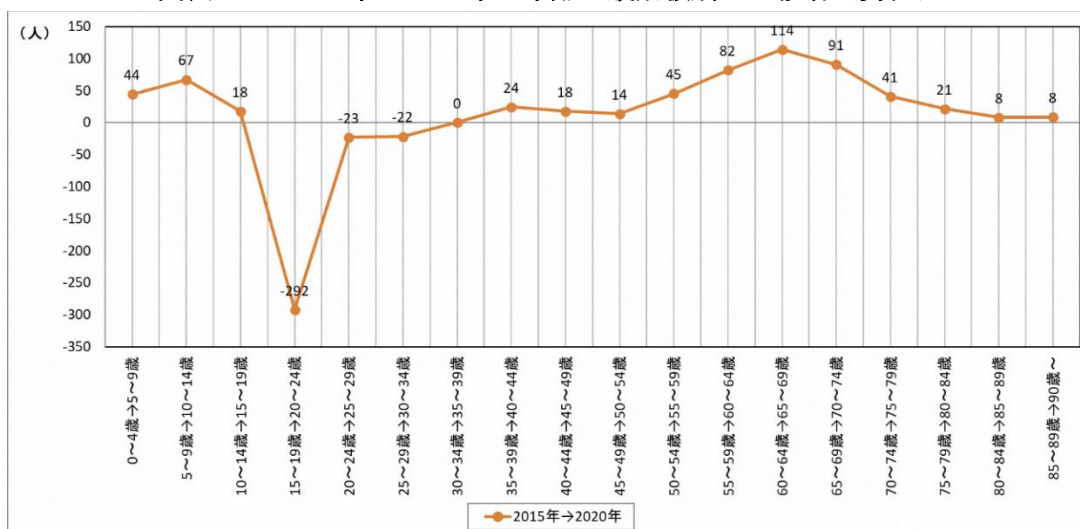
## (6) 性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況

人口移動の背景を分析し、講ずべき施策を検討する材料を得るため、年齢階級別に人口移動を分析しました。

### ◆性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況

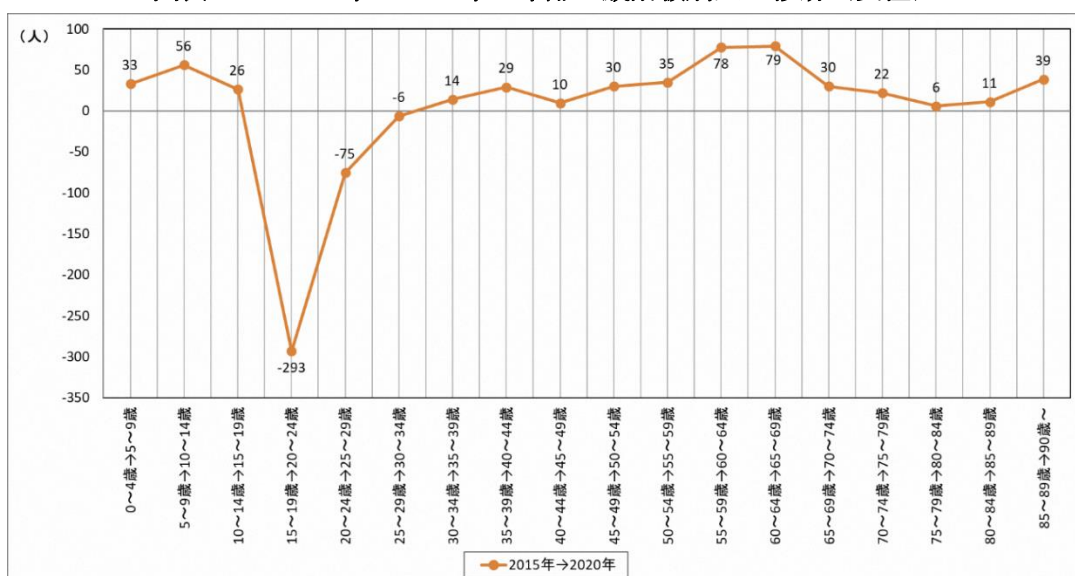
- ・男女とも15～19歳、20歳代の移動が多い。
- ・高校・大学への進学や卒業及び就職、結婚のタイミングでの転出が多いと考えられる。

図表 14 2015年～2020年の年齢5歳階級別人口移動（男性）



資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

図表 15 2015年～2020年の年齢5歳階級別人口移動（女性）



資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

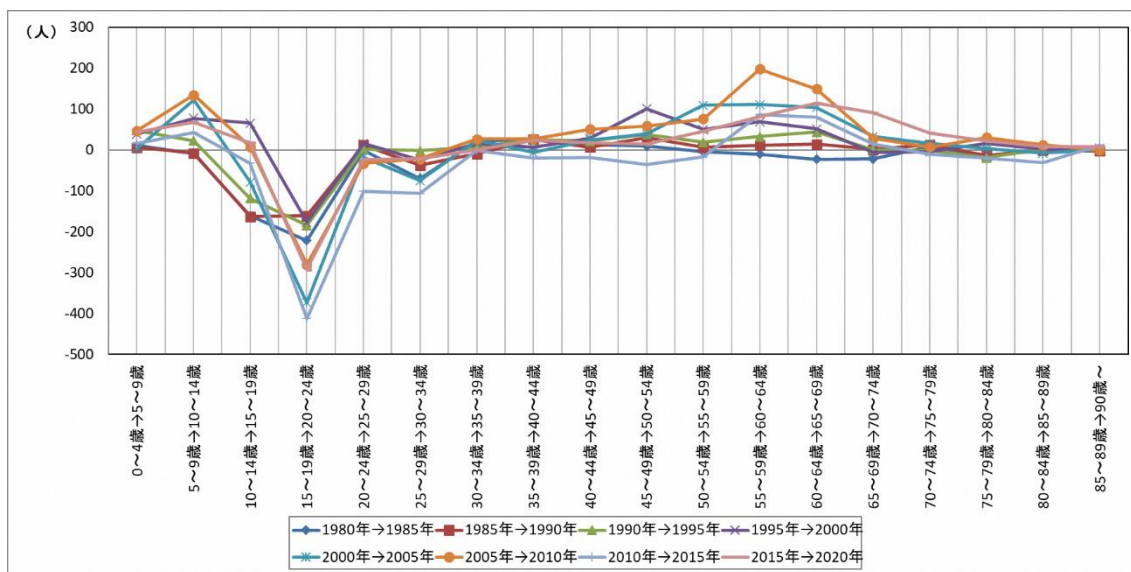
(7) 性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向

年齢階級別に人口移動の状況について、長期的な動向を分析しました。

◆性別・年齢階級別の人口移動の推移

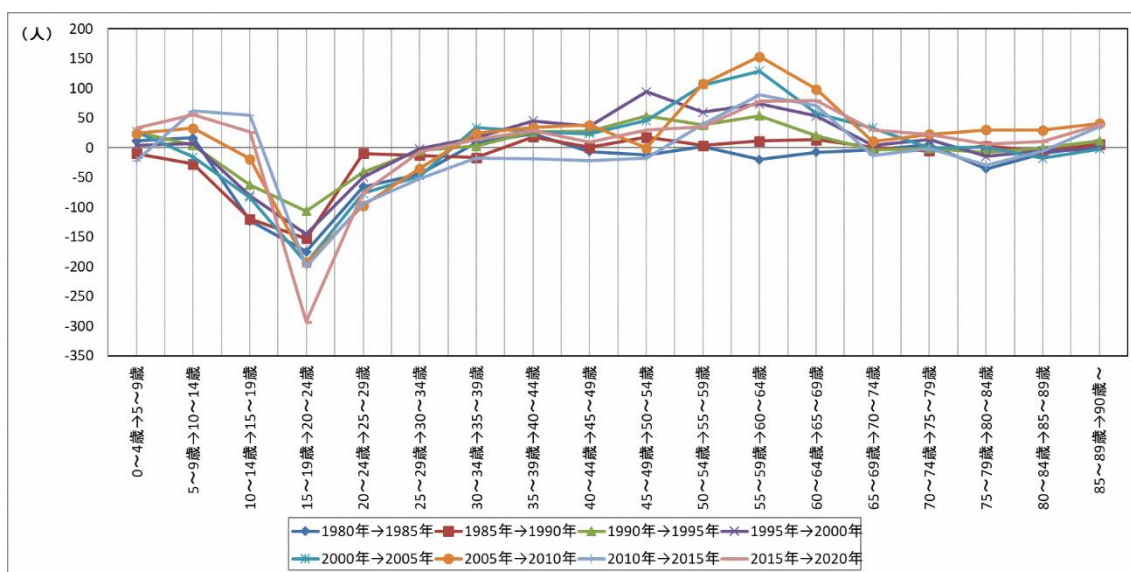
- ・男女とも 15～19 歳→20～24 歳の移動数、移動率とも多くなっています。
- ・55～59 歳→60～64 歳の移動も目立つ中、男性の方が女性よりも多くなっています。

図表 16 年齢 5 歳階級別人口移動数の推移 (男性)



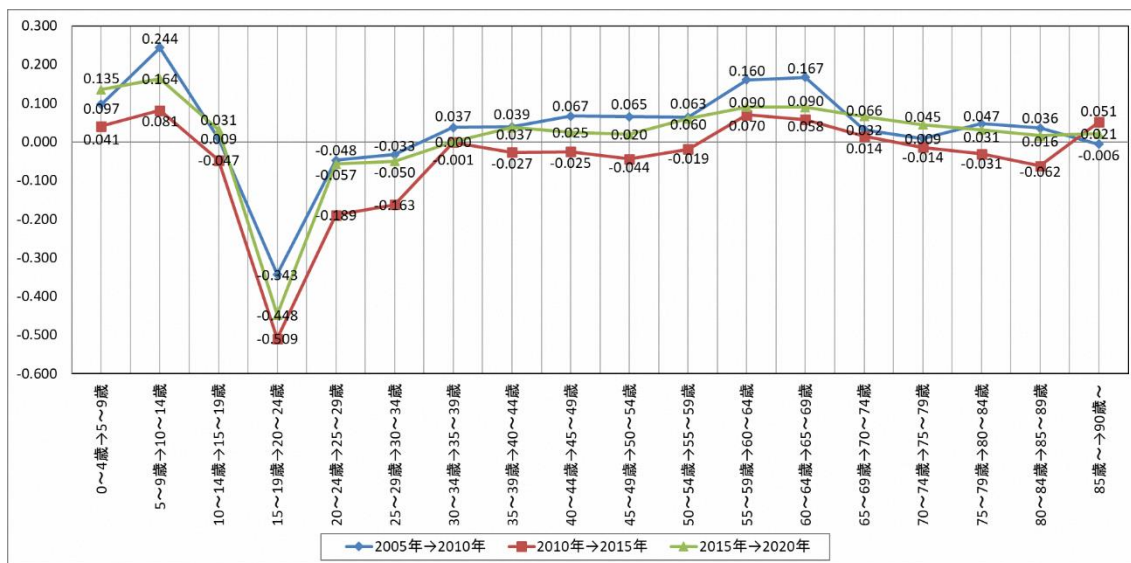
資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

図表 17 年齢 5 歳階級別人口移動数の推移 (女性)



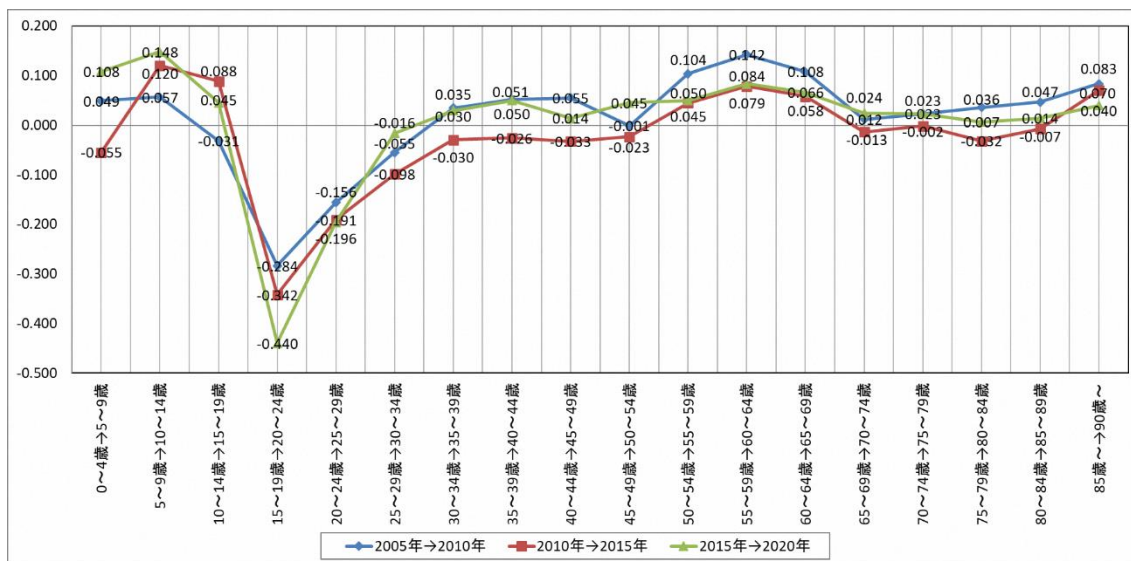
資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

図表 18 年齢5歳階級別人口純移動率\*の推移（男性）



資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

図表 19 年齢5歳階級別人口純移動率の推移（女性）



資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

\* 純移動率は転入率－転出率で求められます。なお、転出率＝地域からの転出者数÷地域人口、転入率＝地域への転入者数÷地域人口となります。

(8) 転入元・転出先の状況

主な転入元・転出先の分析を行いました。また、転入の多い年代の転入元、転出の多い年代の年齢5歳階級別の転出先を確認します。

◆転入元・転出先の状況の分析

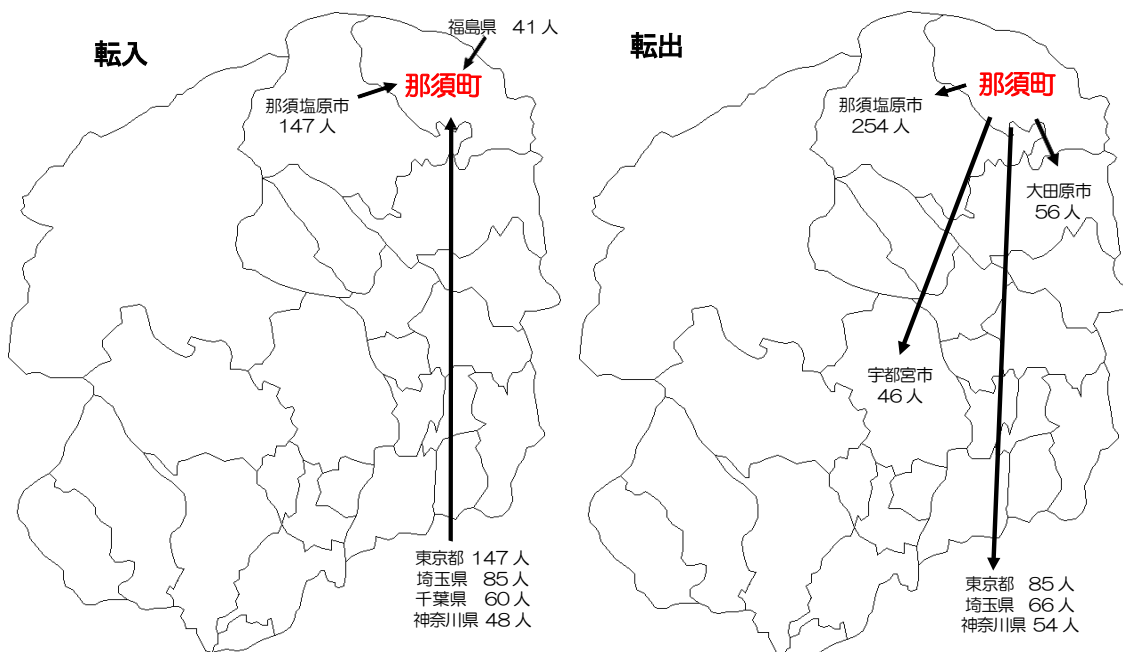
- ・転入元、転出先いずれも那須塩原市が最多です。次いで、東京都、埼玉県の順となっています。
- ・東京都と埼玉県からの転入については、転入総数のうち 29.4%となっています。同様に、東京都と埼玉県への転出については、転出総数のうち 18.6%となっています。

図表 20 転入元・転出先の状況 (2024年・外国人含む)

転入元自治体	人数(人)	転出先自治体	人数(人)
総数	789	総数	810
那須塩原市	147	那須塩原市	254
東京都	147	東京都	85
埼玉県	85	埼玉県	66
千葉県	60	大田原市	56
神奈川県	48	神奈川県	54
福島県	41	宇都宮市	46
その他	261	その他	249

資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

(参考) 転出入の上位5市町村の状況



◆50～64歳の転入元と15～29歳の転出先の状況の分析

- ・50～64歳の転入元は栃木県内、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県が上位となっています。
- ・一方で、15～29歳の転出先は栃木県内、東京都、千葉県、埼玉県が上位となっています。

図表 21 50～64歳の転入元の状況（2024年・日本人住民）

50～54歳	(人)	55～59歳	(人)	60～64歳	(人)
総数	52	総数	39	総数	53
東京都	13	栃木県	10	東京都	20
千葉県	9	東京都	9	栃木県	6
栃木県	8	千葉県	4	埼玉県	7
埼玉県	8	埼玉県	4	神奈川県	4

資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

図表 22 15～29歳の転出先の状況（2024年・日本人住民）

15～19歳	(人)	20～24歳	(人)	25～29歳	(人)
総数	27	総数	137	総数	97
栃木県	11	栃木県	65	栃木県	56
埼玉県	4	埼玉県	17	東京都	10
千葉県	2	東京都	16	埼玉県	9

資料：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

(9) 人口動向の整理

本町の人口動向をまとめると、以下のとおりです。

■本町の人口動向■

人口増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総人口は、2015年の24,919人から2020年の23,956人となり、963人の減少。</li> <li>・生産年齢人口(15～64歳)は2010年から大きく減少。</li> <li>・1995年に老年人口(65歳以上)が年少人口(0～14歳)を上回る。</li> </ul>
人口構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1990年、2020年の男女とも20歳代人口が減少。</li> <li>・1990年から2020年の85歳以上の人口は6倍以上に大幅に増加。</li> <li>・2020年では、男女いずれも15～19歳と20～24歳の間に落差が発生。70～74歳と75～79歳でも同様の傾向が見られる。</li> </ul>
自然増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人住民の死亡者数は、2022年で407人。一貫して増加傾向にある。</li> <li>・一方で、日本人住民の出生者数は2022年で76人。長期減少傾向を示している。</li> <li>・外国人住民の自然増減は、各年とも数名で推移。</li> </ul>
社会増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年まで日本人住民は社会減だったが、2021年以降は社会増。</li> <li>・外国人住民は2015年以降、社会増で推移。</li> </ul>
自然・社会増減の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町が人口増であった平成の半ば頃までは社会増が、また近年の人口減少は自然減が要因である。</li> <li>・外国人住民の自然増減は総人口に及ぼす影響はほとんどない。一方、社会増減については、近年日本人住民を含めた社会増減のうち占める割合が高くなっていることから、今後影響が大きくなることが予測される。</li> </ul>
出生率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計特殊出生率は2013～2017年に1.44であったが、2018～2022年は1.24に低下。</li> <li>・県は1.34であり、下回っている。県内25市町のうち16番目。</li> </ul>
年齢階級別・性別人口移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女とも15～19歳→20～24歳の移動が多いのが顕著である。</li> <li>・55～59歳→60～64歳の移動も目立つ中、男性の方が女性よりも多くなっている。</li> </ul>
地域別人口移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入元と転出先のトップは那須塩原市。次いで、転入元、転出先とも東京都、埼玉県の順となっている。</li> <li>・東京都と埼玉県からの転入については、転入総数のうち29.4%。同様に、東京都と埼玉県への転出については、転出総数のうち18.6%。</li> <li>・50～64歳の転入元と15～29歳の転出先は栃木県内及び首都圏が多くを占めており、共通性が見られる。</li> </ul>

## 2. 雇用及び就労に関する分析

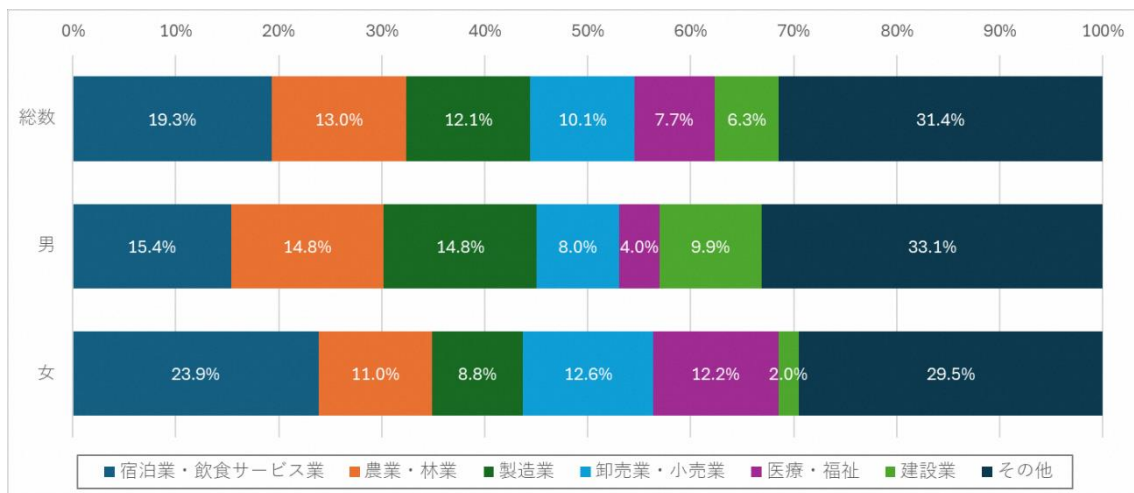
### (1) 産業構成

本町において雇用及び就労の場を提供している産業とその動向を把握するため、本町の産業構成や産業動向を整理します。

#### ◆産業構成の分析

- ・本町の従業者の約 20%が宿泊業・飲食サービス業です。
- ・男性では、農業・林業、製造業の割合も高く、女性では卸売業・小売業、医療・福祉の割合が比較的高くなっています。

図表 23 従業者数の産業別構成（2020年）



資料：総務省統計局「国勢調査」

※小数点第2位以下の処理により、合計が100%にならない場合があります。

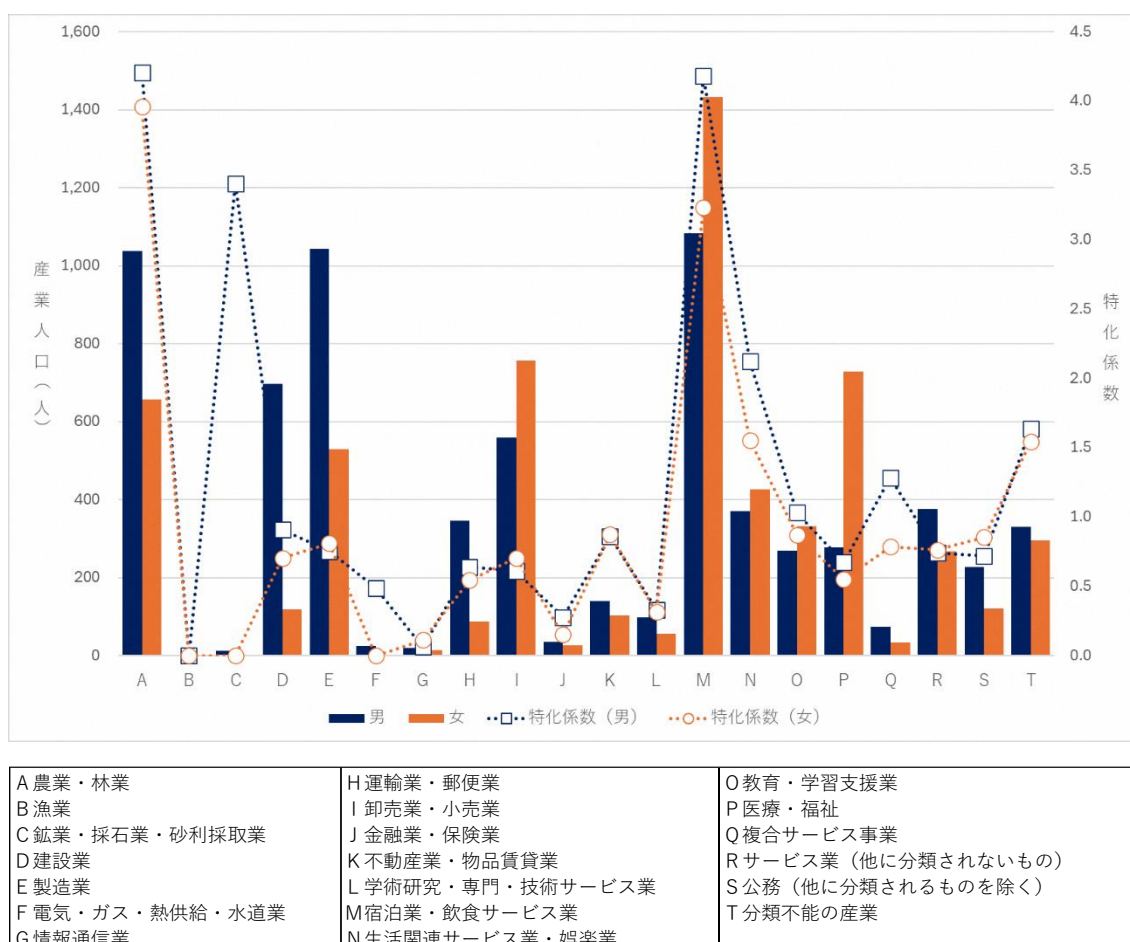
## (2) 産業特性

本町の産業特性について、男女別に比較・分析を行いました。

### ◆従業者数と特化係数\*からの分析

- ・男女とも宿泊業・飲食サービス業に従事している方が多く、特化係数は男性 4.18、女性 3.23 となっています。
- ・農業・林業も男女とも特化係数が大きく、男性は 4.21、女性は 3.96 です。宿泊業・飲食サービス業従業者数に比べ大きな値となっています。
- ・一方、男性では製造業、女性は医療・福祉の従業者数が比較的多くなっていますが、特化係数は 1 を下回っています。
- ・本町の稼ぐ力の柱は、農業・林業、宿泊業・飲食サービス業であると考えられます。

図表 24 産業別従業者数と特化係数（2020 年）



資料：総務省統計局「国勢調査」

\* 特化係数とは、例えば、ある地域の産業別の構成比を全国の平均的な構成比と比較することで、その地域がどの産業に特化しているのかを示す指標です。ある地域の産業の構成比を全国の平均的な構成比で割れば算出できます。

### (3) 年齢別産業構成

本町の年齢別の産業構成と、産業別の年齢構成について整理します。

#### ◆年齢別の産業構成と産業別の年齢構成

- ・男性は 10 歳代から 50 歳代まで製造業が多くなっています。農業・林業は 60 歳代以上が多くを占めています。また、宿泊業・飲食サービス業については、年齢を問わず従業していることがわかります。
- ・女性は、宿泊業・飲食サービス業が多くなっています。女性についても年齢を問わず従業しています。また、農業・林業について、高年齢層での従業割合がとて高くなっています。

図表 25 年齢別の産業構成（2020年・男性）

	農業・林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	分類不能の産業
15～19歳	13.9%	0.0%	0.0%	8.3%	26.4%	0.0%	0.0%	4.2%	13.9%	0.0%	1.4%	0.0%	13.9%	9.7%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	2.8%	2.8%
20～29歳	9.2%	0.0%	0.0%	10.0%	20.9%	0.8%	0.3%	4.1%	8.4%	0.6%	1.3%	0.5%	13.0%	6.6%	7.2%	2.7%	1.6%	2.7%	8.0%	2.3%
30～39歳	12.2%	0.0%	0.2%	10.0%	17.4%	0.2%	0.2%	4.9%	8.2%	0.6%	1.2%	0.4%	14.1%	4.6%	4.1%	5.8%	1.5%	3.8%	6.8%	3.9%
40～49歳	9.0%	0.0%	0.1%	11.5%	18.4%	0.6%	0.2%	7.0%	8.1%	0.6%	2.0%	1.6%	16.3%	5.0%	2.9%	3.8%	1.2%	4.8%	3.5%	3.5%
50～59歳	10.4%	0.0%	0.2%	8.4%	20.1%	0.3%	0.7%	6.0%	7.9%	1.0%	2.8%	1.0%	14.3%	6.4%	5.3%	3.9%	1.7%	4.0%	2.5%	3.2%
60～69歳	18.6%	0.0%	0.2%	10.7%	8.3%	0.3%	0.1%	4.8%	7.4%	0.2%	2.1%	1.7%	17.4%	5.6%	3.5%	4.4%	0.5%	7.4%	1.4%	5.3%
70～79歳	25.2%	0.0%	0.3%	9.7%	5.8%	0.1%	0.2%	1.6%	8.6%	0.1%	2.0%	2.8%	16.8%	3.5%	1.8%	3.5%	0.2%	9.1%	0.5%	8.2%
80歳以上	45.8%	0.0%	0.0%	3.6%	6.6%	0.0%	0.0%	1.2%	4.2%	0.0%	3.0%	2.4%	9.0%	0.6%	0.0%	1.2%	0.0%	3.6%	0.0%	13.7%

資料：総務省統計局「国勢調査」より町事務局で作成

図表 26 産業別の年齢構成（2020年・男性）

	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
農業・林業	1.0%	5.7%	11.3%	12.1%	13.7%	27.9%	21.0%	7.3%
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
建設業	0.9%	9.2%	13.8%	23.1%	16.3%	23.9%	12.0%	0.9%
製造業	1.8%	12.8%	15.9%	24.8%	26.3%	12.5%	4.8%	1.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	20.0%	8.0%	32.0%	16.0%	20.0%	4.0%	0.0%
情報通信業	0.0%	10.0%	10.0%	15.0%	45.0%	10.0%	10.0%	0.0%
運輸業・郵便業	0.9%	7.5%	13.6%	28.3%	23.4%	21.7%	4.0%	0.6%
卸売業・小売業	1.8%	9.6%	13.9%	20.4%	19.3%	20.5%	13.2%	1.3%
金融業・保険業	0.0%	11.1%	16.7%	25.0%	36.1%	8.3%	2.8%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	0.7%	5.7%	7.8%	19.9%	27.0%	23.4%	12.1%	3.5%
学術研究・専門・技術サービス業	0.0%	3.1%	4.1%	23.5%	13.3%	27.6%	24.5%	4.1%
宿泊業・飲食サービス業	0.9%	7.7%	12.5%	21.1%	17.9%	25.1%	13.4%	1.4%
生活関連サービス業・娯楽業	1.9%	11.4%	11.9%	19.2%	23.5%	23.8%	8.1%	0.3%
教育・学習支援業	0.4%	17.1%	14.5%	15.2%	26.8%	20.1%	5.9%	0.0%
医療・福祉	0.0%	6.1%	19.7%	19.0%	19.0%	24.7%	10.8%	0.7%
複合サービス事業	0.0%	13.5%	18.9%	23.0%	31.1%	10.8%	2.7%	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	0.3%	4.5%	9.6%	17.8%	14.6%	30.6%	21.0%	1.6%
公務（他に分類されるものを除く）	0.9%	22.5%	28.6%	21.6%	15.0%	9.7%	1.8%	0.0%
分類不能の産業	0.6%	4.5%	11.2%	14.8%	13.0%	24.8%	21.5%	9.4%

資料：総務省統計局「国勢調査」より町事務局で作成

図表 27 年齢10歳階級別産業構成（2020年・女性）

	農業・林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	分類不能の産業
15～19歳	14.0%	0.0%	0.0%	2.3%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	32.6%	7.0%	2.3%	3.5%	2.3%	2.3%	0.0%	7.0%
20～29歳	7.0%	0.0%	0.1%	1.0%	6.1%	0.0%	0.3%	0.7%	12.9%	0.4%	1.2%	0.6%	27.5%	11.3%	12.0%	10.4%	0.9%	2.2%	2.2%	3.1%
30～39歳	7.7%	0.0%	0.0%	2.2%	11.5%	0.0%	0.5%	1.1%	11.9%	0.5%	1.4%	0.4%	20.8%	7.7%	9.0%	12.6%	0.5%	3.6%	4.5%	4.1%
40～49歳	4.6%	0.0%	0.0%	2.2%	11.6%	0.0%	0.4%	2.7%	12.4%	0.6%	1.8%	1.2%	23.4%	7.2%	5.3%	15.3%	1.1%	3.5%	3.2%	3.5%
50～59歳	5.6%	0.0%	0.1%	2.4%	11.4%	0.1%	0.2%	2.5%	15.7%	0.8%	2.3%	0.9%	20.9%	6.4%	5.6%	14.5%	0.5%	4.7%	2.0%	3.4%
60～69歳	14.6%	0.0%	0.0%	2.0%	6.9%	0.0%	0.1%	0.9%	12.3%	0.2%	1.7%	1.2%	26.4%	6.4%	3.0%	13.0%	0.2%	5.9%	0.7%	4.6%
70～79歳	24.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.7%	0.0%	0.2%	0.5%	9.4%	0.2%	2.1%	1.5%	26.6%	6.0%	1.6%	6.1%	0.0%	6.9%	0.3%	9.4%
80歳以上	43.2%	0.0%	0.0%	1.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	1.8%	0.0%	12.4%	1.8%	0.6%	0.6%	0.0%	3.6%	0.0%	21.3%

資料：総務省統計局「国勢調査」より町事務局で作成

図表 28 産業別年齢10歳階級構成（2020年・女性）

	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
農業・林業	1.8%	7.3%	9.4%	8.1%	9.4%	30.2%	22.6%	11.1%
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	1.7%	5.9%	15.1%	21.8%	21.8%	23.5%	8.4%	1.7%
製造業	1.5%	7.9%	17.6%	25.3%	23.8%	17.8%	4.3%	1.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報通信業	0.0%	13.3%	26.7%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
運輸業・郵便業	0.0%	5.7%	10.3%	35.6%	31.0%	13.8%	3.4%	0.0%
卸売業・小売業	2.0%	11.6%	12.7%	19.0%	22.9%	22.2%	7.7%	1.9%
金融業・保険業	0.0%	11.1%	14.8%	25.9%	33.3%	11.1%	3.7%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	0.0%	7.7%	10.6%	20.2%	24.0%	22.1%	12.5%	2.9%
学術研究・専門・技術サービス業	0.0%	7.1%	5.4%	25.0%	17.9%	28.6%	16.1%	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	2.0%	13.1%	11.7%	19.0%	16.1%	25.2%	11.5%	1.5%
生活関連サービス業・娯楽業	1.4%	18.0%	14.5%	19.4%	16.6%	20.6%	8.7%	0.7%
教育・学習支援業	0.6%	24.7%	22.0%	18.4%	18.7%	12.3%	3.0%	0.3%
医療・福祉	0.4%	9.7%	14.0%	24.3%	21.9%	24.3%	5.2%	0.1%
複合サービス事業	6.1%	18.2%	12.1%	39.4%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	0.7%	5.6%	10.8%	15.3%	19.4%	29.9%	16.0%	2.2%
公務（他に分類されるものを除く）	0.0%	12.4%	29.8%	30.6%	18.2%	7.4%	1.7%	0.0%
分類不能の産業	2.0%	7.1%	11.1%	13.9%	12.8%	21.3%	19.6%	12.2%

資料：総務省統計局「国勢調査」より町事務局で作成

#### (4) 昼夜間人口と比率

本町の昼夜間人口について、性別ごとに夜間人口と昼間人口の比較・分析を行いました。

##### ◆通勤・通学の流動と昼夜間人口の分析

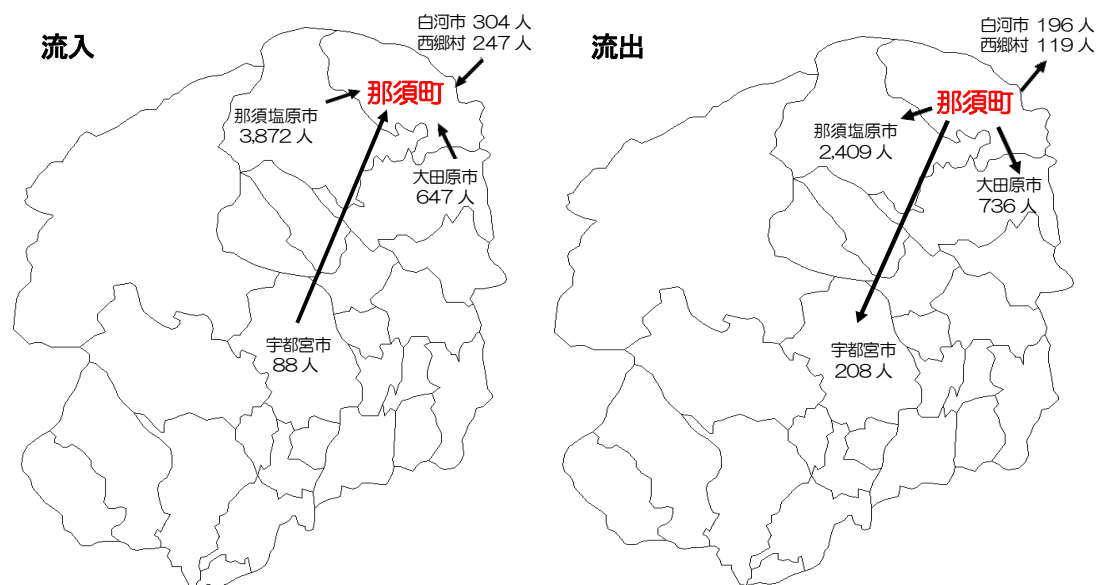
- ・昼夜間人口は昼間人口の方が多く、町外から町内に通勤・通学している人数の方が、町内から町外へ通勤・通学する人数よりも多くなっています。
- ・町外へ通勤・通学で移動する人数は 4,824 人、町外から町内へ通勤・通学で移動する人数は 6,491 人となっており、1,667 人が夜間人口より昼間人口が多くなっています。
- ・昼夜間人口比率が 107.0%であることから、近隣市町村から本町へ通勤・通学する場所である、という位置づけであると考えられます。

図表 29 昼夜間人口及び比率（2020 年）

	総数(人)	男(人)	女(人)
<b>夜間人口</b>	<b>23,956</b>	<b>11,784</b>	<b>12,172</b>
従業も通学もしていない	9,593	4,009	5,584
自市町村で従業・通学	9,539	4,996	4,543
自宅で従業	2,936	1,648	1,288
自宅外の自市町村で従業・通学	6,603	3,348	3,255
他市町村で従業・通学	4,824	2,779	2,045
県内他市町村で従業・通学	4,157	2,324	1,833
他県で従業・通学	667	455	212
<b>昼間人口</b>	<b>25,623</b>	<b>12,657</b>	<b>12,966</b>
うち他市町村に常住	6,491	3,652	2,839
県内他市町村に常住	5,570	3,132	2,438
他県に常住	921	520	401
<b>昼夜間人口比率</b>	<b>107.0%</b>		

資料：総務省統計局「国勢調査」

(参考) 流出入の上位5市町村の状況



(5) 産業特性の整理

本町の人口動向をまとめると、以下のとおりです。

■本町の産業特性■

産業構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の従業者の約 20%が宿泊業・飲食サービス業。</li> <li>・男性は農業・林業、製造業、女性では卸売業・小売業、医療・福祉の割合も比較的高い。</li> </ul>
産業特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女とも宿泊業・飲食サービス業の従事者が多く、特化係数は男性 4.18、女性 3.23。</li> <li>・同様に、農業・林業も男女とも特化係数が大きい。男性は 4.21、女性は 3.96。宿泊業・飲食サービス業従業者数より大きな値となっている。</li> <li>・男性では製造業、女性は医療・福祉の従業者数が比較的多いが、特化係数は 1 未満。</li> <li>・本町の稼ぐ力の柱は、農業・林業、宿泊業・飲食サービス業であると考えられる。</li> </ul>
就業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は 10 歳代から 50 歳代まで製造業が多い。農業・林業は 60 歳代以上が多い。宿泊業・飲食サービス業については、年齢を問わず従業。</li> <li>・女性は、宿泊業・飲食サービス業が多い。農業・林業については、高年齢層での従業割合がとて高い。</li> </ul>
昼夜間人口と比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼夜間人口は昼間人口の方が多。町外から町内に通勤・通学している人の方が、町内から町外へ通勤・通学する人よりも多数。</li> <li>・町外へ通勤・通学で移動する人数は 4,824 人、町外から町内へ通勤・通学で移動する人数は 6,491 人。その差である 1,667 人が夜間人口より昼間人口が多くなっている。</li> <li>・昼夜間人口比率が 107.0%であることから、近隣市町村から本町へ通勤・通学する場所である、という位置づけであると考えられる。</li> </ul>

### 3. 将来人口推計

#### (1) 社人研推計準拠

将来の総人口及び年齢3区分別人口の推移、将来の男女、年齢5歳階級別人口について、推計を行いました。

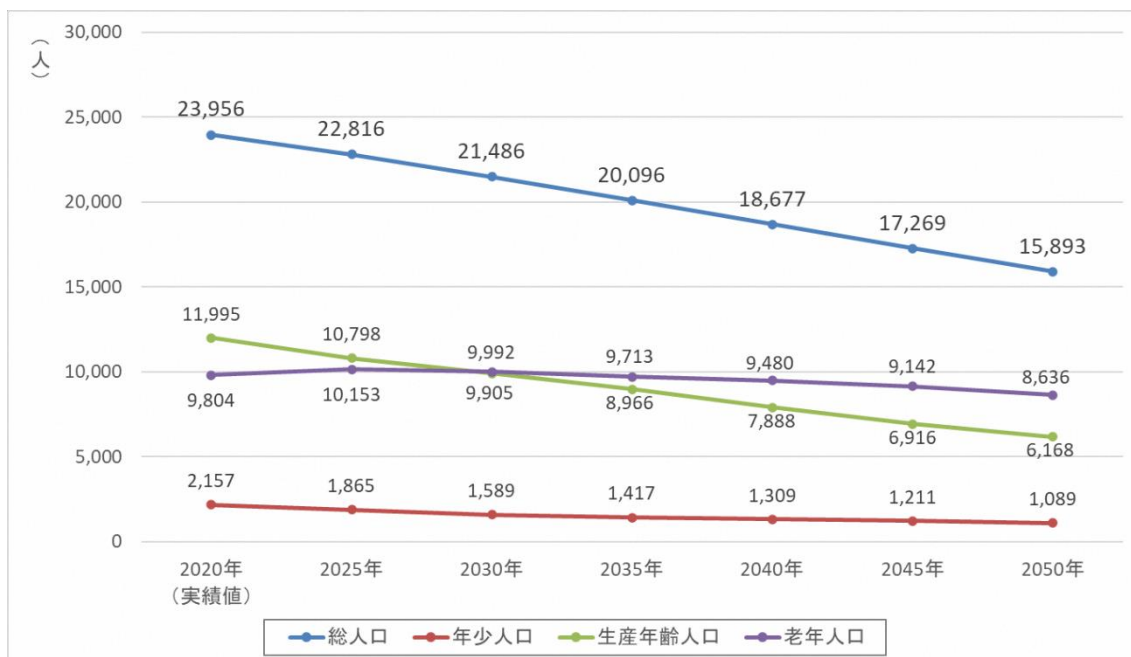
##### ◆総人口の予測

- ・本町の総人口は、2040年に18,677人、2050年に15,893人と予測されます。
- ・減少数が増加していき、2035年から2040年にかけては1,419人の減少と見込まれます。

##### ◆年齢3区分別人口の予測

- ・2040年の生産年齢人口は7,888人、2050年は6,168人で2020年を基準とすると2040年には4,107人の減少、2050年には5,827人の減少となります。
- ・同様に、2040年の年少人口は1,309人、2050年は1,089人で2020年を基準とすると2040年には848人の減少、2050年には1,068人の減少となります。
- ・年少人口と生産年齢人口は一貫して減少を続ける一方で、老年人口は今後も増加を続け2030年に生産年齢人口を上回り9,992人となりピークを迎えます。
- ・老年人口は2030年以降減少段階に入り、2040年には9,480人、2050年には8,636人と見込まれます。

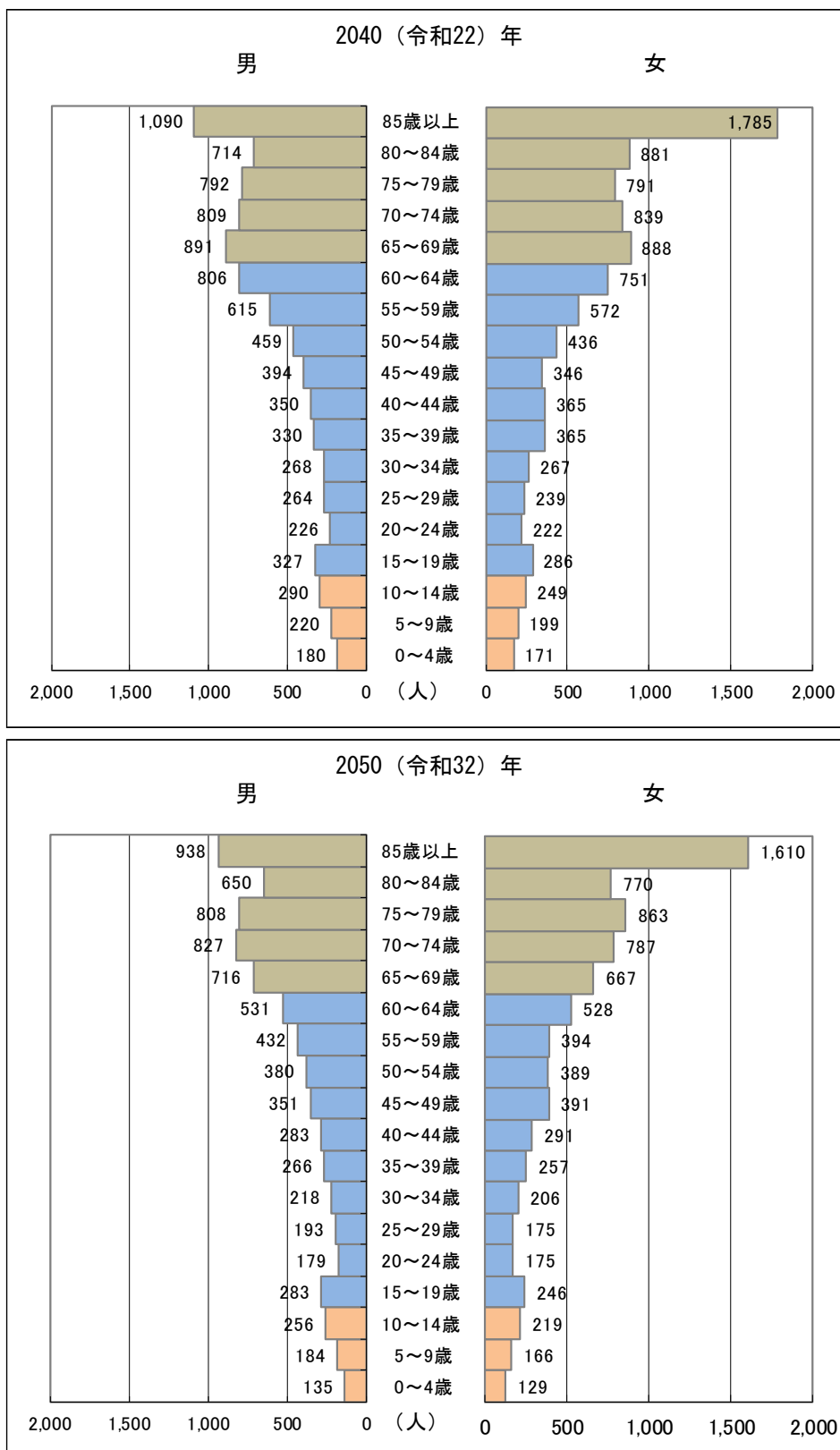
図表 30 総人口及び年齢3区分別人口の推計結果



注) 2020年の実績値について、年齢3区分別人口は年齢不詳補完値です。2ページの図表2における2020年の各値と異なります。

資料：社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」

図表 31 男女、年齢5歳階級別人口の推計結果



資料：社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」より町事務局で作成

## (2) 封鎖人口

封鎖人口(出生と死亡だけの要因で人口が変化すると仮定)の推計は以下のとおりです。

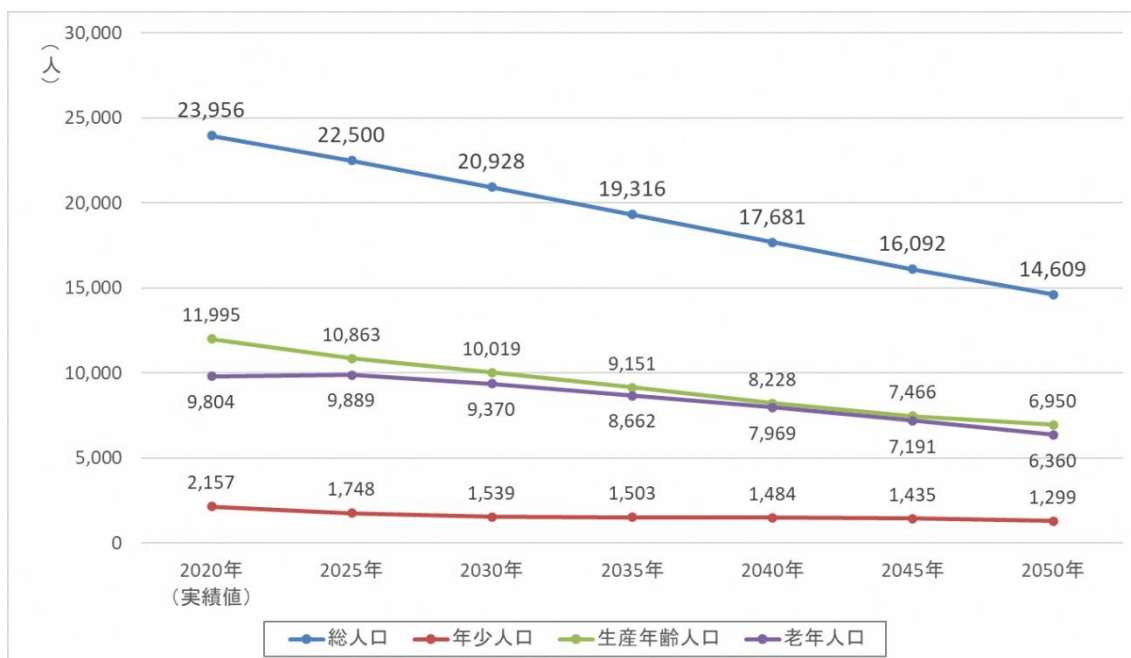
### ◆総人口の予測

- ・本町の総人口は、2040年に17,681人、2050年に14,609人と予測されます。
- ・年間、概ね300人から320人程度の減少と見込まれています。

### ◆年齢3区分別人口の予測

- ・2040年の生産年齢人口は8,228人、2050年は6,950人で2020年を基準とすると2040年には3,767人の減少、2050年には5,045人の減少となります。

図表 32 移動封鎖による総人口及び年齢3区分別人口の推計結果



注) 2020年の実績値について、年齢3区分別人口は年齢不詳補完値です。2ページの図表2における2020年の各値と異なります。

資料：社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」

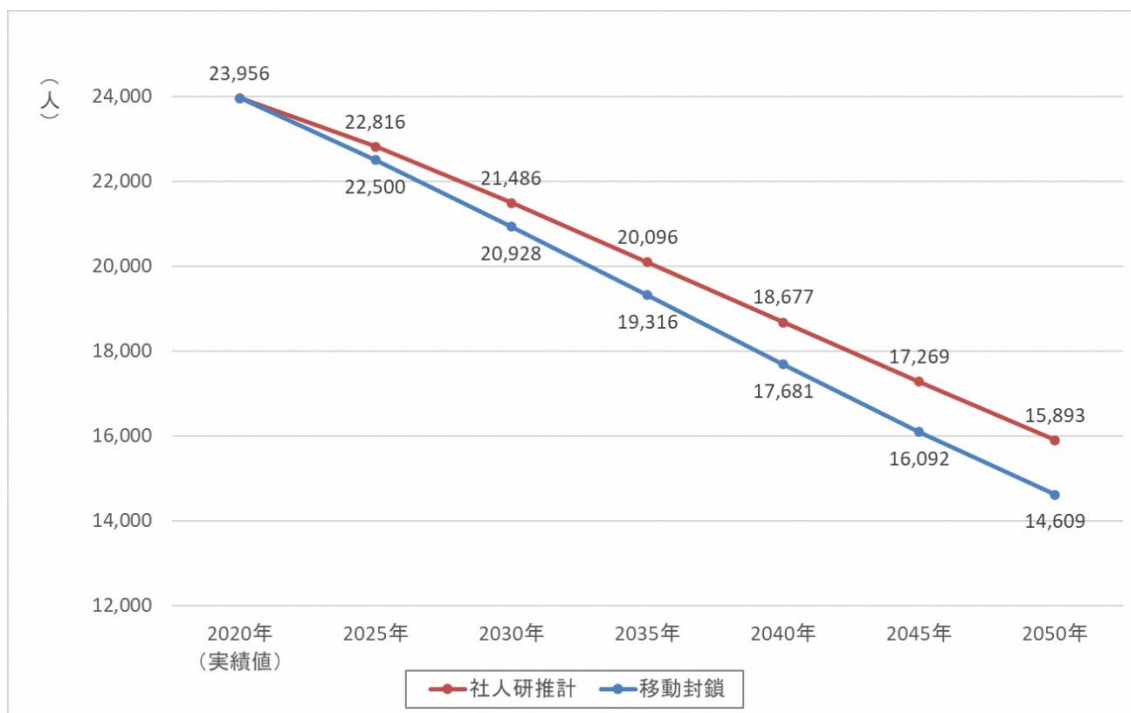
### (3) 社人研推計準拠と封鎖人口の比較

社人研推計と封鎖人口を比較・整理します。

#### ◆総人口の比較

- ・本町の総人口は、社人研推計の方が封鎖人口よりも人口減少幅が少なくなっています。
- ・社人研推計と封鎖人口の差は2030年に558人、2040年に996人、2050年に1,284人となり、社人研推計の人口が多くなっています。
- ・本町では、社会移動要因は人口減少対策にプラスの働きをしていると言えます。

図表 33 社人研推計と封鎖人口の比較



資料：社人研「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」及び町事務局にて作成

## 4. 人口の将来展望

### (1) 出生と移動に関する仮定について

本町における現状は、出生数の減少と死亡数の増加による自然減、転入超過による社会増となっています。一方で、若年世代の転出超過の現状もあります。振興計画や総合戦略に基づき、これらの状況を改善させるための様々な施策を展開し、人口減少をできる限り抑制を図る必要があります。

これらを踏まえ、人口の将来展望を行うに当たって、「出生に関する仮定」と「移動に関する仮定」を設定することとします。

#### ① 出生に関する仮定

若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶えるための施策を積極的に推進していくことにより、出生率の向上が図られるとして将来を見据えます。人口推計にあたっては、本町における合計特殊出生率が段階的に上昇することを見込み、2030年には1.38、2050年には国の目標である1.8を維持することを目指します。

<町独自推計にて使用する合計特殊出生率>

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
合計特殊出生率	1.24 (実績値)	1.24	1.38	1.42	1.66	1.80	1.80

#### ② 移動に関する仮定

移住に関する希望や、高校生・大学生の就職に関する希望をかなえるための施策を実施することにより、若者の移住・定住の促進や、流出の抑制を促し、純移動率の改善が図られることとして将来を見据えます。人口推計にあたっては、男女別15～19歳→20～24歳の移動率を社人研推計で使用された値(転出超過)を半減させた(転出を抑制した)値を利用します。

＜町独自推計にて使用する移動率＞

男	2020年 →2025年	2025年 →2030年	2030年 →2035年	2035年 →2040年	2040年 →2045年	2045年 →2050年	2050年 →2055年	2055年 →2060年	2060年 →2065年	2065年 →2070年
0～4歳→5～9歳	0.11213	0.12286	0.12878	0.13441	0.13864	0.14267	0.14267	0.14267	0.14267	0.14267
5～9歳→10～14歳	0.20093	0.21797	0.22731	0.23487	0.24181	0.24696	0.24696	0.24696	0.24696	0.24696
10～14歳→15～19歳	0.01763	0.02055	0.02601	0.03114	0.03304	0.03530	0.03530	0.03530	0.03530	0.03530
15～19歳→20～24歳	-0.20451	-0.20450	-0.20350	-0.20226	-0.20155	-0.20126	-0.20126	-0.20126	-0.20126	-0.20126
20～24歳→25～29歳	-0.02943	-0.03085	-0.02542	-0.01752	-0.01141	-0.00604	-0.00604	-0.00604	-0.00604	-0.00604
25～29歳→30～34歳	-0.03312	-0.03640	-0.03549	-0.03118	-0.02466	-0.01997	-0.01997	-0.01997	-0.01997	-0.01997
30～34歳→35～39歳	0.02590	0.02804	0.02954	0.02992	0.03301	0.03805	0.03805	0.03805	0.03805	0.03805
35～39歳→40～44歳	0.02153	0.02144	0.02553	0.02647	0.02664	0.02860	0.02860	0.02860	0.02860	0.02860
40～44歳→45～49歳	0.03099	0.03987	0.04192	0.04557	0.04650	0.04676	0.04676	0.04676	0.04676	0.04676
45～49歳→50～54歳	0.04318	0.04173	0.04616	0.04717	0.05072	0.05174	0.05174	0.05174	0.05174	0.05174
50～54歳→55～59歳	0.06090	0.05622	0.05811	0.06101	0.06269	0.06739	0.06739	0.06739	0.06739	0.06739
55～59歳→60～64歳	0.12127	0.12190	0.11875	0.12090	0.12616	0.12964	0.12964	0.12964	0.12964	0.12964
60～64歳→65～69歳	0.08112	0.08554	0.09213	0.08905	0.09068	0.09535	0.09535	0.09535	0.09535	0.09535
65～69歳→70～74歳	0.02790	0.03368	0.03871	0.04266	0.04006	0.04101	0.04101	0.04101	0.04101	0.04101
70～74歳→75～79歳	0.01629	0.01111	0.02027	0.03125	0.03461	0.03136	0.03136	0.03136	0.03136	0.03136
75～79歳→80～84歳	0.00761	0.00595	0.00084	0.00609	0.01234	0.01634	0.01634	0.01634	0.01634	0.01634
80～84歳→85～89歳	0.00218	-0.00075	0.00153	-0.00736	-0.00059	0.00729	0.00729	0.00729	0.00729	0.00729
85～89歳→90～94歳	-0.00454	-0.00476	-0.00659	-0.00496	-0.00970	-0.00683	-0.00683	-0.00683	-0.00683	-0.00683
90歳～→95歳～	0.03471	0.04143	0.03939	0.03345	0.04742	0.03045	0.03045	0.03045	0.03045	0.03045

女	2020年 →2025年	2025年 →2030年	2030年 →2035年	2035年 →2040年	2040年 →2045年	2045年 →2050年	2050年 →2055年	2055年 →2060年	2060年 →2065年	2065年 →2070年
0～4歳→5～9歳	0.05847	0.06784	0.07257	0.07699	0.08035	0.08348	0.08348	0.08348	0.08348	0.08348
5～9歳→10～14歳	0.14458	0.15890	0.16719	0.17327	0.17880	0.18292	0.18292	0.18292	0.18292	0.18292
10～14歳→15～19歳	0.03473	0.03577	0.04088	0.04715	0.04841	0.05015	0.05015	0.05015	0.05015	0.05015
15～19歳→20～24歳	-0.16993	-0.17037	-0.16902	-0.16650	-0.16481	-0.16429	-0.16429	-0.16429	-0.16429	-0.16429
20～24歳→25～29歳	-0.10551	-0.12698	-0.10699	-0.09934	-0.09209	-0.08530	-0.08530	-0.08530	-0.08530	-0.08530
25～29歳→30～34歳	0.00789	0.00825	0.00617	0.01078	0.01887	0.02631	0.02631	0.02631	0.02631	0.02631
30～34歳→35～39歳	0.03927	0.04603	0.05082	0.04935	0.05223	0.05776	0.05776	0.05776	0.05776	0.05776
35～39歳→40～44歳	0.03187	0.03269	0.03847	0.04099	0.04018	0.04174	0.04174	0.04174	0.04174	0.04174
40～44歳→45～49歳	0.02529	0.02777	0.03050	0.03471	0.03665	0.03606	0.03606	0.03606	0.03606	0.03606
45～49歳→50～54歳	0.02561	0.02538	0.02865	0.03136	0.03581	0.03788	0.03788	0.03788	0.03788	0.03788
50～54歳→55～59歳	0.09659	0.09309	0.09592	0.10058	0.10535	0.11339	0.11339	0.11339	0.11339	0.11339
55～59歳→60～64歳	0.09759	0.10065	0.10163	0.10405	0.10940	0.11528	0.11528	0.11528	0.11528	0.11528
60～64歳→65～69歳	0.06165	0.06329	0.06967	0.07006	0.07214	0.07621	0.07621	0.07621	0.07621	0.07621
65～69歳→70～74歳	0.00059	0.00243	0.01021	0.01336	0.01326	0.01476	0.01476	0.01476	0.01476	0.01476
70～74歳→75～79歳	0.01278	0.00671	0.01018	0.02217	0.02513	0.02467	0.02467	0.02467	0.02467	0.02467
75～79歳→80～84歳	0.00262	0.00340	-0.00415	-0.00125	0.00607	0.00856	0.00856	0.00856	0.00856	0.00856
80～84歳→85～89歳	0.00989	0.01066	0.01580	0.00517	0.00946	0.01548	0.01548	0.01548	0.01548	0.01548
85～89歳→90～94歳	0.03030	0.03281	0.03115	0.04299	0.02806	0.03659	0.03659	0.03659	0.03659	0.03659
90歳～→95歳～	0.02772	0.03492	0.03422	0.03189	0.04310	0.03379	0.03379	0.03379	0.03379	0.03379

<参考>社人研推計で使用されている移動率

男	2020年 →2025年	2025年 →2030年	2030年 →2035年	2035年 →2040年	2040年 →2045年	2045年 →2050年	2050年 →2055年	2055年 →2060年	2060年 →2065年	2065年 →2070年
0～4歳→5～9歳	0.11213	0.12286	0.12878	0.13441	0.13864	0.14267	0.14267	0.14267	0.14267	0.14267
5～9歳→10～14歳	0.20093	0.21797	0.22731	0.23487	0.24181	0.24696	0.24696	0.24696	0.24696	0.24696
10～14歳→15～19歳	0.01763	0.02055	0.02601	0.03114	0.03304	0.03530	0.03530	0.03530	0.03530	0.03530
15～19歳→20～24歳	-0.40902	-0.40900	-0.40699	-0.40451	-0.40309	-0.40251	-0.40251	-0.40251	-0.40251	-0.40251
20～24歳→25～29歳	-0.02943	-0.03085	-0.02542	-0.01752	-0.01141	-0.00604	-0.00604	-0.00604	-0.00604	-0.00604
25～29歳→30～34歳	-0.03312	-0.03640	-0.03549	-0.03118	-0.02466	-0.01997	-0.01997	-0.01997	-0.01997	-0.01997
30～34歳→35～39歳	0.02590	0.02804	0.02954	0.02992	0.03301	0.03805	0.03805	0.03805	0.03805	0.03805
35～39歳→40～44歳	0.02153	0.02144	0.02553	0.02647	0.02664	0.02860	0.02860	0.02860	0.02860	0.02860
40～44歳→45～49歳	0.03099	0.03987	0.04192	0.04557	0.04650	0.04676	0.04676	0.04676	0.04676	0.04676
45～49歳→50～54歳	0.04318	0.04173	0.04616	0.04717	0.05072	0.05174	0.05174	0.05174	0.05174	0.05174
50～54歳→55～59歳	0.06090	0.05622	0.05811	0.06101	0.06269	0.06739	0.06739	0.06739	0.06739	0.06739
55～59歳→60～64歳	0.12127	0.12190	0.11875	0.12090	0.12616	0.12964	0.12964	0.12964	0.12964	0.12964
60～64歳→65～69歳	0.08112	0.08554	0.09213	0.08905	0.09068	0.09535	0.09535	0.09535	0.09535	0.09535
65～69歳→70～74歳	0.02790	0.03368	0.03871	0.04266	0.04006	0.04101	0.04101	0.04101	0.04101	0.04101
70～74歳→75～79歳	0.01629	0.01111	0.02027	0.03125	0.03461	0.03136	0.03136	0.03136	0.03136	0.03136
75～79歳→80～84歳	0.00761	0.00595	0.00084	0.00609	0.01234	0.01634	0.01634	0.01634	0.01634	0.01634
80～84歳→85～89歳	0.00218	-0.00075	0.00153	-0.00736	-0.00059	0.00729	0.00729	0.00729	0.00729	0.00729
85～89歳→90～94歳	-0.00454	-0.00476	-0.00659	-0.00496	-0.00970	-0.00683	-0.00683	-0.00683	-0.00683	-0.00683
90歳～→95歳～	0.03471	0.04143	0.03939	0.03345	0.04742	0.03045	0.03045	0.03045	0.03045	0.03045

女	2020年 →2025年	2025年 →2030年	2030年 →2035年	2035年 →2040年	2040年 →2045年	2045年 →2050年	2050年 →2055年	2055年 →2060年	2060年 →2065年	2065年 →2070年
0～4歳→5～9歳	0.05847	0.06784	0.07257	0.07699	0.08035	0.08348	0.08348	0.08348	0.08348	0.08348
5～9歳→10～14歳	0.14458	0.15890	0.16719	0.17327	0.17880	0.18292	0.18292	0.18292	0.18292	0.18292
10～14歳→15～19歳	0.03473	0.03577	0.04088	0.04715	0.04841	0.05015	0.05015	0.05015	0.05015	0.05015
15～19歳→20～24歳	-0.33985	-0.34073	-0.33803	-0.33300	-0.32962	-0.32857	-0.32857	-0.32857	-0.32857	-0.32857
20～24歳→25～29歳	-0.10551	-0.12698	-0.10699	-0.09934	-0.09209	-0.08530	-0.08530	-0.08530	-0.08530	-0.08530
25～29歳→30～34歳	0.00789	0.00825	0.00617	0.01078	0.01887	0.02631	0.02631	0.02631	0.02631	0.02631
30～34歳→35～39歳	0.03927	0.04603	0.05082	0.04935	0.05223	0.05776	0.05776	0.05776	0.05776	0.05776
35～39歳→40～44歳	0.03187	0.03269	0.03847	0.04099	0.04018	0.04174	0.04174	0.04174	0.04174	0.04174
40～44歳→45～49歳	0.02529	0.02777	0.03050	0.03471	0.03665	0.03606	0.03606	0.03606	0.03606	0.03606
45～49歳→50～54歳	0.02561	0.02538	0.02865	0.03136	0.03581	0.03788	0.03788	0.03788	0.03788	0.03788
50～54歳→55～59歳	0.09659	0.09309	0.09592	0.10058	0.10535	0.11339	0.11339	0.11339	0.11339	0.11339
55～59歳→60～64歳	0.09759	0.10065	0.10163	0.10405	0.10940	0.11528	0.11528	0.11528	0.11528	0.11528
60～64歳→65～69歳	0.06165	0.06329	0.06967	0.07006	0.07214	0.07621	0.07621	0.07621	0.07621	0.07621
65～69歳→70～74歳	0.00059	0.00243	0.01021	0.01336	0.01326	0.01476	0.01476	0.01476	0.01476	0.01476
70～74歳→75～79歳	0.01278	0.00671	0.01018	0.02217	0.02513	0.02467	0.02467	0.02467	0.02467	0.02467
75～79歳→80～84歳	0.00262	0.00340	-0.00415	-0.00125	0.00607	0.00856	0.00856	0.00856	0.00856	0.00856
80～84歳→85～89歳	0.00989	0.01066	0.01580	0.00517	0.00946	0.01548	0.01548	0.01548	0.01548	0.01548
85～89歳→90～94歳	0.03030	0.03281	0.03115	0.04299	0.02806	0.03659	0.03659	0.03659	0.03659	0.03659
90歳～→95歳～	0.02772	0.03492	0.03422	0.03189	0.04310	0.03379	0.03379	0.03379	0.03379	0.03379

## (2) 社人研推計と独自推計の比較

先に示した仮定値を用い、将来推計（独自推計）を行いました。その結果と社人研推計を比較します。

### ◆社人研推計と独自推計の比較

- ・社人研推計では 2035 年に 20,096 人、2050 年に 15,893 人となります。
- ・一方、独自推計では 2035 年に 20,893 人、2050 年に 17,869 人となります。
- ・2070 年には 3,650 人の押し上げ効果が見込まれています。

図表 34 社人研による推計

	2020 年 (実績値)	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年
合計特殊 出生率	1.24	1.19	1.23	1.26	1.26	1.27	1.27
総人口	23,956	22,816	21,486	20,096	18,677	17,269	15,893
年少人口 (0~14 歳)	2,157 9.0%	1,865 8.2%	1,589 7.4%	1,417 7.1%	1,309 7.0%	1,211 7.0%	1,089 6.9%
生産年齢人口 (15~64 歳)	11,995 50.1%	10,798 47.3%	9,905 46.1%	8,966 44.6%	7,888 42.2%	6,916 40.0%	6,168 38.8%
老年人口 (65 歳以上)	9,804 40.9%	10,153 44.5%	9,992 46.5%	9,713 48.3%	9,480 50.8%	9,142 52.9%	8,636 54.3%

資料：社人研「日本の地域別将来推計人口 令和 5 (2023) 年推計」

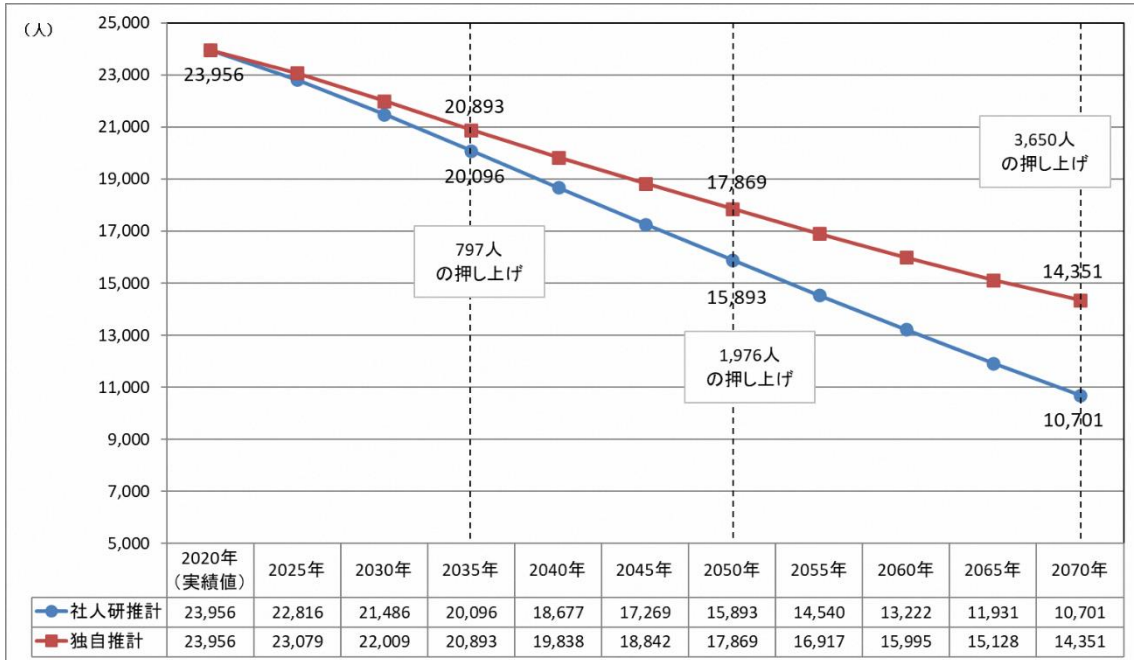
図表 35 仮定に基づく推計（独自推計）

	2020 年 (実績値)	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年
合計特殊 出生率	1.24	1.24	1.38	1.42	1.66	1.80	1.80
総人口	23,956	23,079	22,009	20,893	19,838	18,842	17,869
年少人口 (0~14 歳)	2,157 9.0%	1,907 8.3%	1,731 7.9%	1,687 8.1%	1,757 8.9%	1,834 9.7%	1,868 10.5%
生産年齢人口 (15~64 歳)	11,995 50.1%	11,020 47.7%	10,286 46.7%	9,494 45.4%	8,600 43.3%	7,867 41.8%	7,365 41.2%
老年人口 (65 歳以上)	9,804 40.9%	10,151 44.0%	9,992 45.4%	9,713 46.5%	9,481 47.8%	9,141 48.5%	8,636 48.3%

資料：町事務局において作成

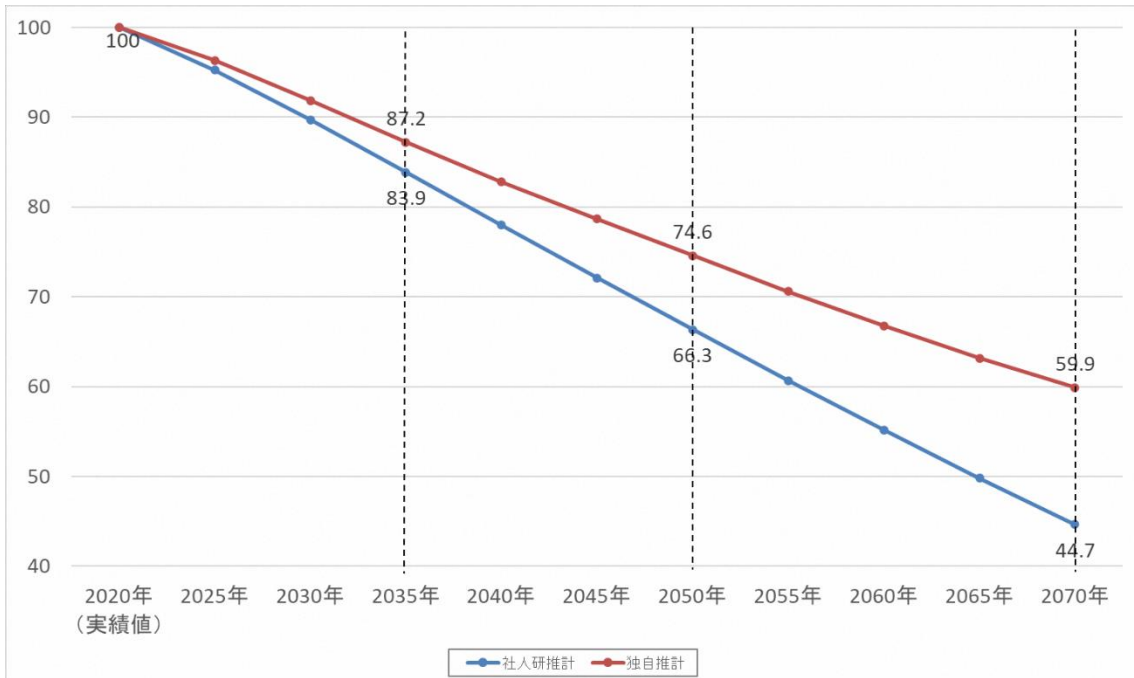
※推計値について、小数点以下の処理のため、総人口と年齢 3 区分別人口合計と一致しない場合があります。

図表 36 人口の将来展望



資料：町事務局において作成

図表 37 人口の将来展望（2020年を100とした場合の指数）



資料：町事務局において作成

### (3) 総人口の将来展望

前述のとおり、社人研の推計によると、本町の2035年の人口は20,096人、2050年は15,893人まで減少すると見通されています。

様々な施策を通じて、上記の仮定を実現することにより、合計特殊出生率が上昇すること、また、15～19歳の流出人口を減少させることで、年齢区分別人口に大きな影響を与え、出生数が上昇し、年少人口の増加、人口ピラミッドにおける若年層の比率の上昇という好循環を生み出すことを目指します。

以上より、本町の人口の将来展望を

2035（令和17）年	21,000人
2050（令和32）年	18,000人

とします。





【発行】 那須町 企画政策課

〒329-3292

栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13

TEL : 0287-72-6906

FAX : 0287-72-1133

ホームページ : <https://www.town.nasu.lg.jp/>

E-mail : [kikaku@town.nasu.lg.jp](mailto:kikaku@town.nasu.lg.jp)